

# 広域連携中学生交流洋上体験研修 事業報告書



**秦野市・中井町・大井町・松田町・二宮町・清川村**

**日程:平成29年8月1日(火)~3日(木)**

~この事業には、市町村振興宝くじ「サマージャンボ宝くじ」の収益金が充てられています。~

## 目 次

1	あいさつ	1
2	研修概要	4
3	研修生内訳	5
4	研修プログラム	
(1)	事前研修	6
(2)	本研修	8
5	研修生の感想	20
6	指導主任、指導担当の感想	40
7	運営スタッフ	43
8	アンケート結果	
(1)	研修生へのアンケート	45
(2)	保護者へのアンケート	47
9	資料	
(1)	「望星丸」概要	55
(2)	実施要項	56
(3)	実行委員会規約、実行委員名簿	59
(4)	運営委員会規約、運営委員名簿	61

# 1 あいさつ



「平成29年度洋上体験研修にあたり」

秦野市長 古谷 義幸

中学生交流洋上体験研修事業は平成13年度から始まり、今年、17年目を迎えました。

この事業には「自然のすばらしさ、厳しさを体験する」という目的があります。本来なら、新島での研修プログラムや外海での航海を通じて、それを「体験」していただきたかったのですが、残念ながら今年は、南の海上に停滞した台風の影響を受け、新島への渡航が叶いませんでした。しかし、天候の影響で予定どおりの研修が行えない、というのもまた、自然の厳しさの「体験」なのではないでしょうか。

新島には渡航できなかったものの、東海大学の皆さまに協力いただき、望星丸の船内や清水港での研修を実施することができました。船内で過ごした2泊3日の集団生活には、普段の生活からは想像できない不便さや窮屈さがあったと思います。しかし、班員や同室の友達と協力し、様々な工夫を凝らしながら乗り越えた経験は、必ず皆さん一人ひとりの力になります。どうかこの経験を財産とし、今後の人生に役立ててください。

また、この研修に参加しよう、挑戦しようと思った気持ちをこれからも忘れずに持ち続けてください。新たな挑戦は、自分の世界を広げるチャンスです。世界が広がれば、それだけ自分の可能性も広がります。皆さんが大きな夢を持ち、それを実現できるよう、応援しています。

そして保護者の皆さまには、お子さんが手元を離れ、船上で生活することに不安や心配もあったと思いますが、その背中を押していただき、ありがとうございました。昨今、子どもたちを取り巻く環境の変化により、「体験学習」の重要性が高まっています。この研修事業のように、自ら肌で感じ、考え、学ぶ「直接体験」は、“生きる力”の基盤づくりに役立つものと思います。これからもお子さんの挑戦を、優しく支えてあげてください。

最後になりますが、本事業の実施にあたり、東海大学の皆さまをはじめ、望星丸乗組員の皆さま、実行委員並びに関係者の皆さまから多大なるご支援をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。





## 「これからの人生の羅針盤」

広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会  
実行委員長 逢坂 伸一

今回の事業の実施にあたりましては、これまでの実績と、秦野市、中井町、大井町、松田町、清川村の多くの方々のご尽力があったと伺っております。実行委員会などで、昨年度までのことなどをご説明いただいて、1市4町1村に渡る広いエリアの中学生が一堂に会して、しかも洋上での学習チャンスという普段はなかなか味わうことの出来ないような体験を実現できることに、はじめは不安さえもよぎりましたが、実際に経験させていただいて、この事業の効果の大きいことに改めて納得させていただいております。実行委員長としても、この事業にかかわられた全ての方々に心よりのお礼を申し上げます。

事前研修に続いて、三日間の洋上研修中の全ての時間を参加中学生とともに生活し、直接指導にあられた諸先生や看護担当職員、あるいは、運営を担当した市町村の職員の方々、特に、東海大学海洋学部齊藤教授と参加者の安全を見守って頂いた海洋学部ライフセービングサークルの学生、また、二見船長をはじめとする乗組員と16名の練習生には多大なご協力をいただきましたことにも合わせてお礼申し上げます。

今回の洋上研修に参加された中学生の皆さんも、学んだことを大切にするとともに、ご指導ご協力を頂いた方々への感謝の気持ちを忘れないでほしいと思います。

大海原をゆったりと航海する船上生活において様々な事柄について学ぶことは、事前研修や出発式のお話したように、自主性、協調性を身につけるとともに、戸惑っている仲間の手を差しのべるなどの思いやりの心を学ぶチャンスでしたが、多くの場面でそれらの学びを目にすることが出来ましたことは、事前に実行委員の皆さんで話し合われたねらいの実践でもあったと思います。

今回は、迷走台風のあおりを受けて、荒波の外洋に出ることが危ぶまれ、清水港と湾内での船上宿泊と研修となり、1日目の目的地である新島への寄港が不可能となったことは残念ではありましたが、清水港沖での深海水の冷たさの体験やプランクトンの確認、そして水圧調査など、おそらく初めてづくしの光景に学ぶことは少なくなかったものと思います。

2日目の船内見学では、近代的な操舵システム、船内の研究室、あるいは機関室のエンジンの大きさなど、乗組員や練習生の説明を聞きながら、船や海洋についての興味を持ち始め、指示をしたわけでもないのに、メモを取るなどの様子も見られたことに感心させられました。

その後の、遊覧フェリーでの海洋科学館の見学、そして夜空の下での洋上フェスティバルなどの楽しいプログラムを体験することも出来ました。

日頃の学校や家庭での生活から離れて、船という比較的狭い空間での行動は、仲間同士の協力が不可欠であり、食事の準備や後片付け、あるいはグループ活動などがその体験の場となりました。事前研修のときにはなかなか打ち解けず、ぎこちなかったグループのメンバーも、船内環境を理解するにしたがって、お互いに気をつかいながら、活発に行動するようになりました。口数の少なかった参加者が積極的に進行役を受け持ったり、パーティのためのアイデアを遠慮がちに提案したりする姿など、周囲の状況を見極めることも出来ていたように思いました。グループとしての行動を学ぶことによって、協力することの心地よさに気づき、この事業を解散した後にも、メールのやり取りなどで交流がさらに深まることが期待されました。

“もっと長く滞在したかった”などの参加中学生の声を聴くことも出来ましたが、船を下りた後にも、時々今回の体験を思い出し、友人同士やご家族の間で、繰り返し話題にすることこそが、時には、これからの人生上のヒントになるような気がしております。全ての参加者が、荒波を掻き分けて目的地を探り出す羅針盤のように、豊かな人生を追い求める素敵な青年になってほしいと思います。

ちなみに、“若き日に汝の希望を星につなげ”が望星丸の由来と聞いております。

## 2 研修概要

### 【目的】

- (1) 秦野市、中井町、大井町、松田町、二宮町、清川村（以下1市4町1村という。）が市町村の枠を越えて東海大学の望星丸を用船し、中学生の体験研修事業を連携して行う。
- (2) 1市4町1村の中学生が船上の集団生活を通じて交流と連帯を深めることにより、自主性、協調性及び他人を思いやる心を養う。また、日頃経験できない洋上生活を行うことで心身を鍛える。
- (3) 海洋観測や星空観察、島の歴史や自然にふれあうことにより、自然のすばらしさ、厳しさを体験する。

### 【事業日程】

- (1) 第1回実行委員会：4月25日（火）
  - ・規約案、実施要項案、研修スケジュール案、事業予算案の協議
- (2) 第2回実行委員会：6月28日（水）
  - ・研修生の決定、運営委員の決定、救急医療対応等について
- (3) 運営委員会：6月28日（水）
  - ・運営委員会スタッフの役割、研修スケジュールの確認
- (4) 事前研修：7月26日（水）
  - ・オリエンテーション、アイスブレイク、集団訓練、班内打合せ
- (5) 本研修：8月1日（火）～3日（木）
- (6) 第3回実行委員会：11月20日（月）
  - ・事業報告、決算

### 【使用船】

東海大学海洋調査研修船「望星丸」1，777トン

### 3 研修生内訳

#### (1) 男女別

男子	女子	合計
38	27	65

内参加経験有 (12) 人

#### (2) 学年別

1年	2年	3年	合計
33	26	6	65

#### (3) 市町村別

秦野市						中井町						大井町					
男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計
23	22	24	18	3	45	5	0	4	1	0	5	1	1	1	0	1	2

松田町						二宮町						清川村					
男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計
1	1	0	0	2	2	3	1	1	3	0	4	5	2	3	4	0	7

#### (4) 学校別人数

※()は参加経験有

	秦野市																			
	本町		南		東		北		大根		西		南が丘		渋沢		鶴巻		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1年			6	5		1			1		3			3	2	3				
2年			1 <sup>(1)</sup>	2 <sup>(1)</sup>	3 <sup>(2)</sup>	4							2 <sup>(1)</sup>	4 <sup>(2)</sup>	1		1			
3年													1 <sup>(1)</sup>		2 <sup>(1)</sup>					
合計	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	7 <sup>(1)</sup>	7 <sup>(1)</sup>	3 <sup>(2)</sup>	5 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	1 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	3 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	3 <sup>(2)</sup>	3 <sup>(0)</sup>	6 <sup>(2)</sup>	6 <sup>(1)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	1 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>
	0 <sup>(0)</sup>		14 <sup>(2)</sup>		8 <sup>(2)</sup>		0 <sup>(0)</sup>		1 <sup>(0)</sup>		3 <sup>(0)</sup>		6 <sup>(2)</sup>		12 <sup>(3)</sup>		1 <sup>(0)</sup>		0 <sup>(0)</sup>	

	中井町				大井町				松田町					
	中井		その他		湘光		その他		松田		寄		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1年	4					1								
2年	1 <sup>(1)</sup>													
3年					1 <sup>(1)</sup>			1	1 <sup>(1)</sup>					
合計	5 <sup>(1)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	1 <sup>(1)</sup>	1 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	1 <sup>(0)</sup>	1 <sup>(1)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>
	5 <sup>(1)</sup>		0 <sup>(0)</sup>		2 <sup>(1)</sup>	0 <sup>(0)</sup>		2 <sup>(1)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>			0 <sup>(0)</sup>	

	二宮町						清川村					
	二宮		二宮西		その他		緑		宮ヶ瀬		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1年				1			1		2			
2年			3				2	2				
3年												
合計	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	3 <sup>(0)</sup>	1 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	3 <sup>(0)</sup>	2 <sup>(0)</sup>	2 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>	0 <sup>(0)</sup>
	0 <sup>(0)</sup>		4 <sup>(0)</sup>		0 <sup>(0)</sup>		5 <sup>(0)</sup>		2 <sup>(0)</sup>		0 <sup>(0)</sup>	

## 4 研修プログラム

### (1) 事前研修

- ◆と き：7月26日（水）
- ◆と ころ：はだのこども館 多目的ホール
- ◆内 容

逢坂実行委員長兼統括責任者のあいさつから始まった事前研修。午前中には運営スタッフの紹介や本研修のスケジュールを確認する「オリエンテーション」、緊張した気持ちをほぐし仲間づくりのきっかけとなった「アイスブレイク」、研修中の行動基本単位となる班での「集合練習」を行いました。午後に行った班内打ち合わせでは、班長などの役割を決め、その後洋上フェスティバルのスタンツ（出し物）の話し合いをしました。



#### ●受付

研修では班別の活動がたくさん。  
受付で所属する班を確認します。



#### ●配布資料

本日のプログラムや研修のしおりを  
配布。新島の写真に期待が膨らみます。

時間	主なスケジュール
9時30分	受付
10時00分	開会・あいさつ
10時15分	オリエンテーション
11時15分	アイスブレイク (仲間作り)
11時25分	・集合練習 ・登舷礼について
11時45分	昼食
12時25分	班内打ち合わせ ・班長、副班長の決定 ・室長、副室長の決定 ・洋上フェスティバル のスタンツ
15時00分	閉会、解散





### ●開会

班のメンバーが揃いました。事前研修の始まりです。



### ●指導担当紹介

2班ごとに1人の指導担当がつきます。個性的な自己紹介に笑い声も。



### ●看護担当からの注意事項

研修には2名の看護担当も参加しました。船酔いを防ぐためのアドバイスや、船上での注意点の話がありました。



### ●アイスブレイク

仲間と打ち解けるために、ミニゲームで気持ちをほぐします。



### ●班長、副班長の決定

班長を中心として、班での活動が進行します。責任重大な役割です。



### ●班内打ち合わせ

本研修2日目の夜に行われる洋上フェスティバル。発表するスタントをみんな考えてました。

## (2) 本研修

【1日目 8月1日(火)】

出発式は各市町村の首長や教育長、この研修の企画者である実行委員に参列いただき、研修生の保護者、市町村の職員などに見守られ行われました。

その冒頭、南の海上にある台風の影響により新島へ渡航できないと発表に、落胆の声。

それでも研修生の一団は元気良くバスで出発。清水港から望星丸に乗り込み、船内でオリエンテーション、海洋観測、DVD鑑賞などを行いました。



### ●受付

指導担当に名前を告げて、洋上体験研修の始まりです。



### ●中学生交流宣言

7班の玉井班長が市町村長の前で研修への意気込みを宣言しました。

1 日 目	
時間	スケジュール
6	受付
7	出発式 秦野市役所出発
8	バス移動 富士川SA休憩
9	バス移動 清水港着、乗船
10	清水港出港 船内オリエンテーション
11	海洋観測① 昼食
12	・ハヤシライス ・サラダ 等
13	海洋観測②
14	海洋に関する講和
15	清水港入港
16	DVD 鑑賞
17	夕食
18	・鶏から揚げ ・小松菜のお浸し 等
19	班内会議
20	航海日誌の記入
21	消灯





● 出発式での  
集合写真



● 望星丸乗船

清水港から望星丸に乗り込みます。  
船の中で生活に、ドキドキワクワク。



● 出港

大きな汽笛の音とともに出港。海洋観測のポイントへと向かいます。



● 船内オリエンテーション

二見船長の挨拶から始まり、住吉事務長からは、万一の場合に使用する救命道具の使用方法を教わりました。



● 海洋観測①

このネットを海中に入れ、プランクトンなどを採取します。



### ●海洋観測①

何が取れたかな？



### ●昼食準備

配膳に使うトレーには、ラップを敷き、汚れを防ぐことで、食器洗いに使用する水を節約します。



### ●昼食

研修中の食事の配膳や片付けも、班毎に分担して行いました。



### ●昼食の片付け

使用した食器は食器洗浄機へ。洗いあがりはとても熱くなっていました。



### ●海洋に関する講和

東海大学海洋学部の齋藤教授による講和。クイズ形式で海について学びました。



### ●海洋観測②

みんなが持ってきたカップ麺の容器を機器にくくりつけ、海中深くに沈める実験をしました。





●海洋観測②

引き上げられたカップ麺の容器。  
変化に「なぜ？」と興味津々。



●海洋観測②

水深1000mからくみ上げた深層  
水。触ってみたり舐めたりしました。



●夕食

船内での食事は、栄養バランスの取れたメニュー。



●夕食の片付け

指導担当や運営スタッフとも協力し、  
手際良く片付けていきます。



●班長によるくじ引き

洋上フェスティバルのスタンプ発表  
の順番を決定。1番を引いたのは・  
・・・5班！



●航海日誌の記入

スポーツドリンクで乾杯をしながら、  
今日の反省点や明日の目標を話し合い  
ました。



## 【2日目 8月2日（水）】

2日目は東海大学海洋科学博物館、自然史博物館を班ごとに見学しました。

午後はエスパルスドリームプラザでお土産を購入。船に戻り、夕食後に控える洋上フェスティバルに向け、各班スタンプの最終打合せを行いました。

日が沈み、辺りが暗くなると、いよいよ洋上フェスティバルの始まりです。どの班も、思考を凝らしたスタンプを発表し、観客を沸かせていました。指導担当のスタンプや、乗組員のクイズ大会も大盛り上がりでした。



### ●朝のつどい

起床は朝6時。まだ眠いけれど・・・  
ラジオ体操で気分をリフレッシュ！



### ●清掃

食堂の清掃は、椅子を机の上にあげて  
行いました。すみずみまで丁寧に。

2 日 目	
時間	スケジュール
6	起床
	朝のつどい・清掃
7	朝食 ・ツナマヨ ・サラミハム 等
8	下船準備
9	清水港下船
	駿河湾フェリー乗船
10	博物館見学 ・海洋科学博物館
11	・自然史博物館
12	昼食 ・カレー
13	駿河湾フェリー乗船
14	エスパルス ドリームプラザ
15	乗船
16	班内会議
17	夕食 ・アジのフライ
18	・肉じゃが 等
19	洋上フェスティバル
20	
21	航海日誌の記入
	消灯



### ●清掃

椅子を上げてみたら新発見！船の揺れに備えて、椅子と床がチェーンで繋がっていました。



### ●清水港下船

船を降り、清水の街へ向かいます。



### ●フェリー乗船

フェリーに乗り、対岸の三保にある博物館へ。



### ●博物館見学

東海大学営業部長の宮城島さんから見学についての説明を聞きました。2つの博物館を班ごとに見学。



### ●海洋博物館（クマノミの水槽）

ドーナツ型の水槽の中で、ハイチーズ。



### ●海洋博物館（津波実験水槽）

津波が起きる仕組みを再現した水槽。模型の家を襲う津波にビックリ。





●海洋博物館

海の生き物に触れる展示もたくさん  
ありました。



●三保会館

昼食会場は博物館の近くの三保会館。  
清水エスパルスの練習場が隣接してい  
るので、サッカー選手もいました。



●エスパルスドリームプラザ

お土産タイム。  
清水の名物は何かな。



●班内会議

船に戻り、夜の洋上フェスティバルに  
向けて最後の打ち合わせ。



●班内会議

皆で意見を出し合って、自分たちも、  
見ている人も楽しめるスタンプを完成  
させました。



●夕食

配膳もスムーズに行えるようになりま  
した。





●洋上フェスティバルスタート  
日が沈んでから後部デッキへ集合。  
いよいよ洋上フェスティバルが始ま  
ります。



●アイスブレイク  
スタッツの発表を前に緊張する気持ち  
をアイスブレイクでほぐしました。



●スタッツ発表  
各班ドキドキの発表。その分、特別な  
思い出となりました。



●指導担当のスタッツ  
おどるポンポコリンに合わせ、みんな  
でダンス！大盛り上がりでした。



●望星丸乗組員のスタッツ  
海や望星丸についての大クイズ大会。  
最後まで連続で正解した研修生には、  
乗組員お手製のプレゼントが。



●優勝は5班！  
コントを発表し大笑いを取った5班が  
優勝！賞品が授与されました。

### 【3日目 8月3日（木）】

研修最終日。朝食の後は、3日間お世話になった望星丸の大掃除をしました。

午前中は乗組員さんの指導で船内見学とロープワークを実施。

昼食は後部デッキで潮風を浴びながらいただきました。帰港式ではお世話になった船長さん、乗組員さんへ感謝の気持ちを伝えました。

バス移動を経て、秦野市カルチャーパーク第1駐車場で解散式。2泊3日の洋上体験研修の日程を無事終了しました。



#### ●朝のつどい

朝のつどいでも各班の班長が大活躍。司会進行をしたり、スケジュールを研修生へ伝えたりしました。



#### ●朝食

大量の料理をみんなにバランス良く分けるのは、思ったより難しい。

3日目	
時間	スケジュール
6	起床
	朝のつどい
7	朝食 ・厚焼きたまご ・ゴボウとキャベツ煮等
8	大掃除
9	
10	船内見学 ロープワーク
11	昼食（デッキランチ） ・ポークチャップ ・天使のエビ焼き 等
12	
13	
14	帰港式
15	清水港出発
	バス移動
16	足柄SA休憩
	バス移動
	秦野市文化会館着
17	解散式





●大掃除（後部デッキ）

横一列になり、磨き残しがないようにします。3日間お世話になった感謝の気持ちを込めて、丁寧に。



●船内見学（救命艇）

望星丸乗組員の案内で船内を見学。



●船内見学（機関室）

船が動いている時には入れない機関室へも、特別に案内してもらいました。



●船内見学（操舵室）

船の進行方向を変える「舵」は、車のハンドルのような装置で操作します



●船内見学（操舵室）

船員が使う双眼鏡は、とても遠くまで見通せる、高性能なものでした。



●船内見学（ドライラボラトリ）

海洋調査船である望星丸には、観測のための機材がたくさんありました。



●ロープワーク

乗組員からロープの結び方を教わりました。初めは「もやい結び」から。



●ロープワーク

今まで知らなかった、便利な結び方がたくさん。



●ロープワーク

頭を悩ませた分、正しく結べたときの達成感もひとしお。



●乗組員さんへお礼の言葉

船内の案内とロープワークを指導していただいたお礼を、6班の鈴木班長が研修生を代表して伝えました。



●昼食準備

天気が回復したので、急遽昼食は後部デッキで食べることに。



●デッキランチ

潮風を感じながらのランチ。





●帰港式（研修生のことば）

9班の井手班長が、望星丸の皆さんへお礼の言葉を伝えました。3年間研修に参加した井手班長の熱い挨拶。



●帰港式（花束贈呈）

10班の福田班長が代表し、お世話になった二見船長へ花束を贈りました。



●船上での集合写真



●解散式

秦野市カルチャーパークでの解散式。2泊3日の研修を終えて、どうだったかな。



●解散式（研修生のことば）

3年間研修に参加した10班の福田班長が、代表して研修生のことばを述べました。

## 5 研修レポート



### 【1班】

◎班長  
高橋 琉斗  
○副班長  
佐宗 剛太  
〔班 員〕  
岩崎 くるみ  
大場 樹乃  
嘉屋 綾乃  
古宮 宏晃  
武井 翔也

#### ◆高橋 琉斗

今回の洋上体験研修では、台風の影響で新島に行けなかったけど、エンジン室の見学や、海洋博物館の見学など、貴重な体験ができてとても思い出に残りました。去年とはまた違う人達と行動し、初めは緊張してしまいましたが、すぐに打ち解け、今年も楽しく学べました。皆既日食のビデオや海についての学習は、知らない事が多くとても楽しめました。また機会があれば来年も行きたいです。

#### ◆佐宗 剛太

新島まで行きたかったです。けど、新島に行けなくても、楽しかったです。海の話は詳しいので、講習のときも知っている内容がほとんどでした。でも、ロープワークは、やったことがなかったので、とてもいい勉強になりました。普段の生活にも活用していきたいです。海用観測の時にとれた、イシダイの幼魚と言っていた魚はカンパチの幼魚でしたね。両方シマ模様なので分かりづらいですが、顔を見れば分かります。洋上体験を通して、他校の人との関わりがもてたことがいちばんよかったことだと思います。このような体験は普段は絶対にできないことなので、出会った仲間、得た知識と経験を大切にしていきたいです。

#### ◆岩崎 くるみ

私は今回の研修に参加して、とてもよかったなあと思っています。一番は他校生、先輩との交流です。一緒にトランプしたり、自分とお互いの学校の話をしたり、とても楽



しかったです。また、昨日までは知らなかったという人達と洋上フェスティバルの出し物を考えたり、話しあったりすること。今までにない体験で、こういうのもいいなあと思いました。船のすごさもあらためて知りました。船があんなにも広いということ。望星丸が世界一周したということ。たくさん知りました。新島には行けなく、とても残念でしたが、そのかわり船でのすごす時間が長く、貴重な体験となりました。洋上体験研修は私の一番の夏の思い出です。たくさん学び、たくさん挑戦し、たくさん楽しむことができました。来年も、もし機会があれば、また参加したいなあと思います。

#### ◆大場 樹乃

最初の集まりでは、全然話せなくて、つまらなそうだったけど、当日はすごく楽しかったです。あまり知らない人と話すのは得意じゃなかったけれど、皆が話してくれたので、色々な人とたくさん話せました。

そして、あまり乗ることのない船に乗り、普段では行けない所まで行って細かく見られたので、とても貴重な体験が出来ました。そしてロープワーク！少しだけ「めんどくさ」と思いましたが、やってみるとあっという間に終わってしまうくらい楽しかったです。

#### ◆嘉屋 綾乃

私は今回の洋上体験研修で初めて船に乗りました。新島に行くことが出来なかったのは残念でしたが、船の中を見学したり、仲間といっしょに2泊したことは、とても楽しかったです。勉強になったことがたくさんありました。1日目は海洋観測やDVDを見たりして、海のことをよく知ることができました。2日目は洋上フェスティバルをし、とても楽しめました。劇は、あまりうまくできななかったけれど、楽しかったのでよかったです。3日目は船内見学をし、船のことをよく知ることができました。

今回の2泊3日で、とても貴重な体験をすることができました。

#### ◆古宮 宏晃

今回の洋上研修で感じたことの1つ目は、新島へ行けなくて残念だったということです。来年も参加して絶対に新島へ行きたいです。

感じたことの2つ目は、他の学校の人と遊んだことがすごく楽しくて、思い出に残ったということです。船の部屋は狭かったけれど、それでも中学生だけで過ごす時間はすごく楽しかったです。初めてみる人ばかりだったけれど、仲間だと思えばすぐになじめて、思い出に残る楽しい時間を過ごせることを学びました。だから、これから高校などで初対面の人とも、この経験をいかして、楽しく生活したり、助け合ったりしていきたいです。

#### ◆武井 翔也

自分が一番楽しかったのは、他校生との交流で、一番嫌だったのは、スマホが使えなかったことです。次の時はスマホを使ってよいことにしてください。次の洋上体験研修にも行きたいと思います。





## 【2班】

◎班長

宝槻 悠真

○副班長

鈴木 貴洋

〔班 員〕

吉川 愛咲

草山 愛海

宮坂 皓人

山口 裕也

### ◆宝槻 悠真

昨年に引き続き、今年で2回目の参加となりました。今年は班長という重要な役目を負い、船へと乗り込みました。班の人たちはみんな明るい性格で、打ち解け合いながら行った船上生活は、とても楽しかったです。台風が近いという理由で新島にこそ行けなかったものの、去年とはまた一つ違った体験ができてよかったと思います。洋上フェスティバルでは、所々まちがえながらも協力して、みごとに3位をとれた事はとてもうれしかったです。

班長として、班員のみんなを率先してまとめ上げることができ、無事3日間を終わらせることができました。小清水先生、そして班員のみんなに直接会って、お礼を言いたいぐらいです。今回は本当にありがとうございました。

### ◆鈴木 貴洋

今回初めて洋上研修に参加しましたが、新島に行けなかったことはとても残念でした。とても楽しみにしていたのに、3日間船内にいただけだったけど、市町村の人たちと交流を深めることが体験できたので良かったです。事前研修の最初の時は班の人たちとはあまり話せなくて、この班で楽しめるのかと思っていましたが、アイスブレイクや洋上フェスティバルなどの班内打ち合わせなどでどんどん楽しくなっていました。そして、何よりも楽しかったのが洋上フェスティバルです。自分の班は昔話を組み合わせた劇をやりました。すごくドキドキしたけれど、3位が取れて、ファイルをもらった時、とても嬉しかったです。

### ◆吉川 愛咲

洋上体験に参加して、新島には行けなかったのですが、他校との交流や船の上での生活など楽しかったです。普段はみられない船内見学をしたり、洋上フェスティバルで色々な人と仲良くなり改めて仲間の大切さを感じました。新島のかわりに海洋科学博物館に行き、見た事もない魚を見たり・さわったりしておもしろかったし、また行きたいと思いました。

この洋上体験で学んだ様々な大切な事を今後の学校生活に活かしていきたいと思います。また来年もいけたらいきたいなあと思いました。

### ◆草山 愛海

私が今回の洋上体験研修に参加して学んだことや感じたことは、笑顔でいれば自然と友達が増えることです。

普段から笑顔でいる様には気を付けてはいるのですが、慣れない場所で知らない人と一緒に生活するのは大変で、顔が引きつってしまいました。けれど、こんな時こそ笑顔でいなくてはいけないと思い、頑張っって笑顔を作っていたら、友達が増えていて、自然な笑顔になりました。

### ◆宮坂 皓人

新島に行けなかったのは残念でしたが、船内見学の際に普段は見ることのできない部分まで見ることができて良かったです。

ロープワークも実際にやってみて、様々な結び方があることを知って勉強になりました。

海洋博物館や清水のフリータイムでは、他校の生徒とまわることができて良かったです。また、楽しみにしていた実験は想像以上の結果でとてもおもしろかったです。

ありがとうございました。

### ◆山口 裕也

今回の洋上体験研修に参加して色々なことを学び、社会性を向上させた。

友達もでき、船の構造などを学んだ。特に洋上フェスティバルがおもしろく、自分たちの班もすごくうけた。他には、博物館などもおもしろく、古代の恐竜のレプリカなど、すごく迫力があつた。でも買い物の時間が短かつた。でもたくさん買えた。

船の部屋の仲間はみんなおもしろく、UNO やトランプをして時間を過ごした。就寝時刻をすぎた後もずっとひそひそ話していた。

1時ぐらゐまで話してゐて、みんな限界をむかえ寝てしまった。あつというまに2泊3日の洋上体験研修が終わりそうだった。3日目のバスに乗って、出発の時、船員の人が手を振っていたのを今でも覚えている。

来年もこの洋上体験研修に行きたいと思ひます。





## 【3班】

◎班長

梅橋 優斗

○副班長

古賀 涼梨

〔班 員〕

栢沼 幸輝

坂本 伎邑洵

島村 晴香

寺地 悠莉菜

羽切 新

### ◆梅橋 優斗

今回の洋上体験研修に参加してみて、新島に行けなかったけれど、博物館や船内見学などの貴重な体験ができたのがよかったです。洋上研修で自分が一番印象にのこっていることは、船内見学でふだん行けない場所や、こういった場所なのかを説明などをしてくれたから一番印象にのこっています。印象にのこっている場所は運転席で地図や船を動かすための道具などいろいろあってすごかったから、一番印象にのこりました。

また機会があったら洋上研修に行きたいです。

### ◆古賀 涼梨

昨年に引き続き、洋上フェスティバルはあまりよく出来ませんでした。事前研修のときも話が進まず、当日の打ち合わせ残り30分くらいでセリフを考えることになりました。話していても、他の班としゃべる人がいたり、まったく聞いていない人もいたので、聞いてくれたのは2人くらいで残念でした。ごはんもなかなか食べる気になれないものばかりだし、台風で新島に行けなかったので、ひたすら船の中であまり楽しくなかったです。でも、他の中学校との交流は楽しかったです。

### ◆栢沼 幸輝

友達を作り交流をしたり、班の中で協力して洋上フェスティバルを盛り上げるなど、今までにないことを体験することができ、とてもよい経験になった。また、3日間船の上で海のこわさ、楽しさなどを学ぶことができ、また船に乗りたいと思った。



#### ◆坂本 伎邑洵

新島には行けなかったけど、すごく貴重な体験をさせてもらったし、すごく楽しかったから後悔はしてないと思っています。

船の物をいっぱい見て、新島ぐらい満足したと感じた。

#### ◆島村 晴香

最初は学校の掲示板を見て、この研修に参加したいと思いました。まだ行こうという意志が弱かったのですが、友達も行くということで、行こうと決意しました。事前研修の時はどんな子がいるのか、同じ学校の子がいたらいいなと思っていたのですが、班には知っている子はいなくて、本当に交流目的のプログラムなのだと思います。

研修当日、台風の影響で残念ながら新島へ行くことはできなかったのですが、その分少し休けいが多くてとても有意義な時間を過ごせました。

班の子や同室の子達とも仲良く、楽しくすごせたので、とても満足しています。まだ2年生なので、来年行けたら行きたいと思います！



#### ◆寺地 悠莉菜

初めて洋上体験に行った時に、友達が作れるか、とても心配でした。でも、相手から話しかけてくれたり、自分からも少しずつ話せたので良かった。班の活動では、仲を深め、とても楽しく過ごせた。寝る時の人とは、とても仲良くできて良かった。全員、秦野市内なので、近くてびっくりした。また話せるといいです。その中には、テニス部の子がいて、たくさん、テニスの話ができて良かった。違う班の男子とも、仲良くなれて良かった。

人との関わりはとても大切だし、友達を作るということは、それだけ楽しく遊んだり、仲良くなれるということだから、この洋上研修に参加できたことは、とても良かったです。夏休みの一つの思い出になりました。

#### ◆羽切 新

ぼくは昨年、姉が参加していてとても楽しそうだったので参加しました。

班や部屋での活動も、班がまとまらない所も少しあったけど楽しかったです。

そして、海洋科学博物館へ行ったり、船内見学をして、海や船についての知識や興味も深まりました。

とっても楽しかったけど、今回行くことの出来なかった新島にも行きたいので、また来年参加したいです。



## 【4班】

◎班長

川辺 美和

○副班長

藤井 暖大

〔班 員〕

稲葉 夢乃

大谷 奏

笠間 駿佑

金城 啓悟

山口 海斗

### ◆川辺 美和

友達に誘われて参加した洋上体験研修だけど、一番感じたことは、新しくできた友達と一緒にすごせたことです。新しい友達とベッドでしゃべったり、見学できました。新しい発見もありました。さめにさわって、ツルツルしていたところと、ザラザラしているところがあること、ヒトデには触手みたいな物があること、意外とティラノサウルスは小さいことなど、たくさんの事を知ることができました。これからは、知った事をきっかけに、もっと自然史を調べてみたいと思います。

### ◆藤井 暖大

私が8月1、2、3日の3日間で感じたのは、船が走っている時と停泊している時の環境の「差」が大きく感じた事です。1日目、望星丸が清水港を出た時のゆれ、感覚など、いろいろ初めての体験でしたが、停泊時はゆれを感じませんでした。船の色々な事が知れて、元のプランよりも望星丸について知れてよかった。もし、またこの研修に参加する事があれば新島へ行きたいと思います。この3日間、色々な事に向き合えて良い時間をすごせました。

### ◆稲葉 夢乃

事前研修の時は、とても不安だったけれど2泊3日過ごしてみて、楽しかったなと感じました。ロープでの様々な縛り方を学んでみて、実際に使えるようになりたいなと思いました。私は、自分から人に話かけるという事ができない性格なのですが、ほとんど知らな



い人との交流がきっかけで自分から話かけにいくことができました。あまり知らない人と話をしたり、友達をつくるという機会はこのような洋上体験研修などでしかできないことだと思います。私は3年生なのでもう次はないけれど、洋上体験研修に参加してよかったと思います。

#### ◆大谷 奏

今回、洋上体験に参加して、さまざまな学校・学年の人と行動・交流をして感じたことがあります。

私は初めてこの研修に参加しましたが、まず驚いたのはその人数です。人数はもちろん分かっていたのですが、思っていたよりも多く感じ、「この人たちはどんな人なのかな？」と私自身思いました。そして交流をしていくうちに仲良くなっていきました。そうして過ごしていくうちに、気づいたことがあります。それは、『人にはさまざまな人がいる』ということです。一見、当たり前なのかもしれませんが、私はずっと仲良しの人といたせいか、一気に大勢の人がいて、話してみると、見た目よりおとなしい人、明るい人、面白い人・・・色々な人がいて、その人たちといると、とても私の視野が広がっていくようで、すごくワクワクしました。このような体験をしたことで、「世界にはどんな人達がいるのかな？」と興味をわくことができました。

#### ◆笠間 駿佑

残念なことに、今年は、天候不良で新島に行けなかったが、別の日程となり少し物足りなかったけど、楽しく過ごせました。初めての人とは緊張したけど、どう交流していくかが大切なことだと思いました。

#### ◆金城 啓悟

他の学校の人達と触れあった事となかなか乗れない船に乗れたことが一番良かったです。今回は新島に行けなくて残念だったが次は絶対に新島に行きたいです。洋上フェスティバルや船での生活も初めてだったので、とても楽しかったです。

#### ◆山口 海斗

ぼくは、新島に行けなくて残念だったけど、清水港の方でも海洋科学博物館とかに行けて良かったです。新島に行きたかったけど、船の普段行けない場所に行けたので、良かったです。部屋の班ではみんなおもしろくて、夜はめっちゃ楽しかったです。

学んだことは、洋上フェスティバルのときの乗組員の人がとてもおもしろかったことです。





## 【5班】

◎班長

関野 ひなた

〔班 員〕

新井 健斗

河原 茉那

久保田 朱寧

小泉 藍生

杉崎 湊

### ◆関野 ひなた

私が洋上に参加して感じたことは、普段他の中学の人や他学年とふれあうことがなかったので楽しかったです。洋上フェスティバルでは班のみんなと協力してできたことが、何より一番うれしかったし、達成感がありました。

### ◆新井 健斗

今回の洋上体験で初めて会う人が多くいる中で、最初は緊張したけど、話していくとだんだん慣れてきて、いろいろな人と仲良くなれて良かったです。船での生活が心配だったけど、楽しくすごすことができましたし、船のことが良くわかりました。どのように初めて会う人と接するかも分かったから良かったです。

### ◆河原 茉那

初めて会った人と一緒に活動するので、始めはとても不安でした。でもだんだん仲良くなって行って班でも協力できたと思います。私が一番うれしかったことは、洋上フェスティバルで1位になったことです。始めは話し合いがなかなか進まず、ちゃんと発表できるか心配だったけど、みんなで一生懸命考えて作った劇はみんな笑ってくれて、協力して頑張ったかいがあったなと思いました。私はこの体験で協力することの大切さを学びました。みんなで協力し合うことで一人ではできないこともでき、成功した時の喜びを感じることができました。他にも普段は見ることのできない船内なども見学でき、勉強になったことがたくさんあります。この経験を学校生活や普段の生活でも生かしていきたいと思います。

#### ◆久保田 朱寧

今回の研修では、海についてのことから、いろいろな人との交流など、多くのことを学ぶことができました。今年は台風の影響で新島に行くことはできませんでしたが、そのかわりに普段では見ることができない、船の内部を見学することができました。班員とは事前研修のときから良い雰囲気ですごくことができ、2泊3日を共にすごしていくことで、もっともっと仲を深めることができました。その結果、洋上フェスティバルで優勝することができました。この経験を生かして、学校やその他の場面でいろいろな人と仲を深めていけるようになりたいなと思いました。この2泊3日で学んだことはポケットに入れながら、使っていきたいと思います。

#### ◆小泉 藍生

船の上での生活は初体験でした。他校の友達とたくさん遊んだり、会話したりして楽しかったです。深海の実験は感動しました。カップは宝物にします。洋上フェスティバルでは、優勝することができうれしかったです。他の班の出し物もおもしろかったし、思い出に残りました。また機会があったら洋上体験研修に参加したいです。

#### ◆杉崎 溪

自分は昨年も参加して、もう一度新島に行きたいと思い参加しました。今年、新島に行けなかったことは残念でしたが、今年は今年で楽しかったと思います。知らない人との交流は正直苦手で、昨年も今年も最初は全然しゃべれないのですが、最終的には、しっかりと話せるようになるので、その体験がいいと思いました。来年は、リベンジ（新島へ行くことを）したいと思うので、よろしくお願いします。ありがとうございました。







## 【6班】

◎班長

鈴木 悠斗

○副班長

栗原 槇之介

〔班 員〕

秋山 珠理

飯塚 祥太

井上 裕登

入野 結衣

### ◆鈴木 悠斗

自分は今回の研修で、最初は洋上フェスティバルの出し物を決める時にととてもとまどって、本番で本当にできるか不安でしたが、うまく成功できたし、楽しめてよかったです。

新島には行くことができなかったですが、普段は体験できないことや、初めて見るものがあり、とても楽しかったです。初めて会った人が多くてとても不安でしたが、だんだんと色々な人と会話できてとても良かったです。

### ◆栗原 槇之介

今回の洋上体験研修は天候に左右され新島へ行くことができなく、残念でしたが、予備プランの方で活動し、海洋博物館などに行き、海の生き物、また災害や歴史などといった多くのことを学ぶことができ、よかったですと思います。また、初めての船上生活で、最初はなれず混乱した部分があったけど、友達やスタッフのおかげで楽しく生活ができ、友達とのきずなもより深まったと実感しています。僕はこの洋上体験研修に参加して、本当にいろいろなことを学び、体験することができてよかったですと思います。

### ◆秋山 珠理

新島に行けなかったのは少し残念だったけれど、船の中で色々な、貴重な体験をさせてもらったので、とても楽しかった。なわの結び方などがきれいにできたときは、とても嬉しかった。またこの海洋研修に参加したいと思った。3日間お世話になり、ありがとうございました。

#### ◆飯塚 祥太

今回の研修に参加して、いろいろな人と仲良くなれました。

1年生だけじゃなくて、2年生、3年生の人とも仲良く楽しく過ごせました。

洋上フェスティバルで班の人とより仲良く、寝るまでの時間に他の人の部屋でトランプをして遊んだり、洋上体験研修に参加して良かったと思いました。

#### ◆井上 裕登

今回洋上体験に参加して、良かったと思います。新島など予定されていた所には行けなかったけど、めったにできない船上生活ができた。

よく、学校の「洋上体験研修」のポスターを見て、「ああ楽しかったなあ」「また行きたいなあ」「〇〇くん元気かなあ」と思います。

洋上フェスティバルの井手くんの言葉に感動しました。なので、僕も井手くんのように3回参加したいので、また来年も参加したいです。

#### ◆入野 結衣

私は、8月3日最後の日に「船内見学」をさせていただきました。普段見る事の出来ない船の内部をじっくり見られてうれしかったです。

一番おどろいた事は大きな船体なのにハンドルが軽自動車よりも小さかった事です。ハンドルを回したら、意外と軽かったのでびっくりしました。

今回、新しく出会えた仲間達と一緒に活動が出来てうれしかったし、楽しかったです。ありがとうございました。







## 【7班】

◎班長

玉井 小雪

○副班長

金枝 佑樹

〔班 員〕

秋野 紫

佐々木 琉盛

田中 昌輝

橋本 武之介

### ◆玉井 小雪

今回が初めての研修という事で不安や緊張でいっぱいだったのですが、終わってみると名残惜しいです。私が今回の洋上体験研修に参加して学んだ事は、「人の前に立つ事は大切な事だ」という事です。私は、出発式の時、班長として生徒代表の言葉に立とうほしました。理由は、この“チャレンジ”が今後なにかに挑戦するきっかけになったらいいなと思ったからです。とても緊張したのですが、立とうほをしたおかげで、私は学協をやっていて人の前に立つ事が多いのですが、いつも他の人に言ってもらえる事ばかりでした。でも、研修の後の学校生活では、大抵の事はできるようになりました。この研修で一步ふみだしたおかげで前進できたのかなと思います。

### ◆金枝 佑樹

今回の洋上体験研修で新島に行くことが出来ず、とても残念でしたが、深海 1000m にカップラーメンを沈めて、深海の海水をさわって、飲むなどの普段出来ない体験が出来て、良い思い出になりました。他には、望星丸の船内にエンジンがある部屋まで見る事が出来て、とても満足しました。来年も参加できるなら、ぜひ参加したいです。

### ◆秋野 紫

船を動かす機械があんなにこまかくて、複雑な仕組みになっていたことにおどろきました。一人一人が責任をもって、みんなと協力してやらないと、この生活はできないと感じました。洋上フェスティバルをやってみて、一人じゃなくてみんなで作るから、楽しく盛り上がったのだと感じました。海水は深い場所のものほどより冷たく、塩辛くなると思い



ました。たくさんの先生や仲間達と行くからこそ、いろんなことを楽しく学べると感じました。

#### ◆佐々木 琉盛

他の学校の人たちと話したり、遊んだりする事ができて良かったです。新島には行けなかったけど、他の体験が出来て良かったです。



#### ◆田中 昌輝

今回は新島に行けず残念でした。

そのかわり、この洋上研修に行かなければ他校との交流ができませんでした。今では広い地域の人と友達です。もし、この研修のような時は必ず行きたいです。自分は2年生なので、来年がまだあります。なので、次はかならず新島に行きたいです。

#### ◆橋本 武之介

事前研修を含めて四日間いろいろな体験が出来た。事前研修のときにわかった班のメンバー。最初は緊張してなかなかしゃべれなかったけれどアイスブレイキングや洋上フェスティバル出し物を話し合っていくうちにあだ名で呼び合う仲になった。今年は新島に行くことはできなかったが水族館の見学やいつも入れない船のエンジン部分の見学が出来た。夏の貴重な思い出になった。





## 【8班】

◎班長

坂本 結梨

○副班長

伊藤 輝

〔班 員〕

椎野 京介

下嶋 諒郁

半田 ひより

山野井 瑛南

### ◆坂本 結梨

今回私は、3年生ということもあって班長をやりました。事前にまとめられるかなあと思ったり、ちゃんと仕事ができるかなあと考えてました。でも班の皆がとても優しく、とてもやりやすかったです。

色々今回アクシデントがあったけど、また去年とは違う体験をできて良かったです。

### ◆伊藤 輝

今回で2回目の洋上体験でしたが、残念ながら悪天候のために新島に着岸できませんでした。ですが、清水港や海の上での貴重な体験ができて良かったです。前回の体験にいた友達などに積極的に話せたのが良かったです。スタッフの皆様の優しい指導でこれまでの平凡な日常にないような楽しい2泊3日を過ごすことができました。洋上フェスティバルではクイズでヒモの結び方のコルクボードをもらえたのが印象に残っています。東海大学の海洋博物館で、魚や古代生物を見れて良かったです。このような貴重な体験ができ、また来年も是非参加したいと思います。

### ◆椎野 京介

この洋上体験研修に参加して学んだことは、カップラーメンのカップを水の深くにしずめるとあんなに小さくなるんだと思いました。ぼくは、なぜ水に入れただけではあんなに小さくならないのに、1000mのところまでしずめると、とっても小さくなるのが疑問になりました。あと水深何メートルのところからカップラーメンは小さくなるのかということが、家に帰ってからふしぎに思いました。今回の洋上研修では、新島には着港できなか

ったけど、とても良い体験ができました。また洋上体験研修に行けるのならば、また行きたいです。今度は新島まで行って、また多くの友達を作って、将来友達をたくさん作りたいです。

#### ◆下嶋 諒郁

最初は緊張していたけれど、しだいに友達もでき、普段経験できないことをさせていただき、良い研修になったと思います。

本来の目的である新島に行くことはできませんでしたが、その分友達との時間も多くより親睦を深めることができました。ねる前にはみんなとトランプやウノをしたりと、活動時間以外でも楽しむことができました。

僕はこの洋上研修で様々なことを学ぶことができました。参加して良かったです。

#### ◆半田 ひより

他の学校の人々と交流ができて、とても楽しかったし、新しい友達ができてとてもうれしかった。いろいろな所に行けたし、新島には行けなかったけれど、それ以外の思い出もたくさんできたとし、普段行けないようなところに行けたし、普段できないような体験もできてとても楽しかった。また来年も行きたい、と思わせてくれるようないろいろな出会いや、体験ができてとっても楽しくておもしろかった。また行きたい。

#### ◆山野井 瑛南

今回の洋上研修は新島に行けなかったけど、海洋科学博物館で様々な魚、津波の実験、恐竜の歴史も知れて、とても勉強になったし、めったにできない船上生活ができてすごく楽しかったです。船内見学では、偉い人の特別の部屋があること、操縦ではとてもたくさんの機械を使うこと、天候や日記はすべて英語で書くことなどを学びました。あと、自由時間のときなどで、校外のお友達ができただけでも思い出の一つです。

船上生活はトイレが流しにくかったり、シャワーが熱かったり、慣れないことも多々ありましたが、何もかもが新鮮で、常にワクワクドキドキしていました。2日目の洋上フェスティバルは最も印象に残っていることの一つで、すごく盛り上がったのはもちろん、乗組員の人達のクイズで景品がもらえたことが何よりも印象に残っています。

2泊3日という短い時間でしたが、とても充実した時間がすごせました！来年はリベンジして、新島に行きたいです。







## 【9班】

◎班長

井手 篤大

○副班長

内田 悠来

〔班 員〕

安藤 大我

石田 莉央

中川 みのり

平塚 里彩

### ◆井手 篤大

今回の研修は、僕にとって最後の研修になりました。1年生の時から参加していて、思えばいろいろなことがありました。初めて参加した2年前、望星丸に乗り、陸をはなれ、大海原にのりだしたとき、僕は少し恐怖を感じました。でも、海を越えた先には、今まで見たこともない世界が広がっていました。いつも学校の教室から海が見えますが、洋上研修に参加すると、あの水平線の先には、僕たちの知らない別の世界があるということを学びました。また、楽しいことだけでなく、大変なこともありました。去年の研修で当たった班は、少しチームワークに欠ける班でした。なぜかおたがい協力できず、話し合いも準備も進まず、洋上フェスティバルが大失敗に終わってしまいました。僕は去年の研修が終わった後、「来年は絶対成功させなきゃ」と思いました。そして、今年度の事前研修の会場に足をふみいれました。すると、今年の班は全員とても積極的な人たちで、僕は班長をやらせていただきましたが、しっかりと話を聞いてくれて、たくさん意見を出してきてくれ、しっかりと準備をしてきてくれて、とてもすばらしい班でした。そして迎えた当日、今年は新島に行けませんでした。班の雰囲気のおかげで、それ以上のことができたと思います。洋上フェスティバル本番、どの班もとてもかがやいて見えました。そして、僕の班は見事2位に選ばれ、その瞬間、空前絶後の喜びを感じ、あまりにもうれしかったので「イエーイ」と喜ぶことを忘れてしまいました。僕の、年末の笑うことが許されない番組に出ていた芸人のマネもみんなにとっても喜んでもらえて、大成功に終わりました。

そしてついに研修最終日となり、僕は帰港式のあいさつ係でしたが、挨拶の途中あまりにも名残惜しかったせいか、何度も泣きそうになり、涙をこらえるのが大変でした。船の上という非日常の体験、普段体験できないたくさんのことを体験できました。今回、新島を断念したのも、船ならではの事だと思います。また、学年、学校、市町村の垣根を越え、たくさんのお友達ができて、大充実でした。そして、後輩諸君には、ぜひ来年、新島に行き、全力で楽しんできてほしいです。最後に、望星丸の皆さま、職員の皆さまをはじめ、この研修に関わったたくさんの方々に深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

#### ◆内田 悠来

研修に参加してみて一番強く感じたことは、「自分自身が積極的にならないと楽しめない」ということだ。スタンプ作りも仲間との交流も自分から何かをしようとしたことは印象に残るし、楽しかった思い出となる。他の学校の生徒と打ちとけ合い、いろいろな話をしたり、冗談を言いあったりしたのは、積極的にふるまったからだ。楽しい思い出になった。

この研修に参加して自分が変わったとは思わないが、自分自身についての発見はあったと思う。

#### ◆安藤 大我

自分は、この洋上体験研修に行って、良かった事と残念だった事がありました。まず良かった事は洋上フェスティバルで、やってみる前はすごくはずかしいと思っていたけど、実際やってみて楽しくなりました。残念だった事は、新島に行けなかったことです。だけど、色々な所に行けたのでそれは良かったです。

#### ◆石田 莉央

今回、洋上体験に参加して新島には行けなかったけど、その分自由時間が多くて、他校との交流や班のみんなとたくさん交流できたり、水族館や普段は行けないエンジン部分などを見せてくれたり、貴重な体験ができたと思います。

今回学んだことを、今後の学校生活などにも生かしていきたいと思います。

#### ◆中川 みのり

私が洋上体験研修で学んだことや感じたことなどを紹介します。まず、ロープワークについてです。ロープワークではもし水に溺れてしまって、近くにロープがあったときの結び方やロープで上に登ることがあったりしたときに玉結びをいっぺんに作る結び方などを教えてもらいました。次に海洋観測についてです。海洋観測では、水深 1000mにカップ麺の容器を入れてみる実験をしました。そうすると、普通のカップ麺が3分の1ぐらいになっていて、びっくりしました。そして、水深 1000mの水はすごく冷たかったです。全てを通して新しい友達ができたり、いつもはできない体験などをして、清水の生物などを学びました。私は今回の洋上体験研修でいろいろなことを知れたと思います。私はこれから、今回学んだことをいかしていきたいです。

#### ◆平塚 里彩

今回の洋上体験で学んだことは、友達じゃなくてもコミュニケーションをとることが大切だということです。正直新島に行かないで何をしに来たのかと思ったけど、この洋上体験でできた友達とトランプや話をしていたら、時間があつという間に過ぎていって、新島に行けなくても、とても楽しい3日間でした。この洋上体験でできた友達とまた、再会したいです。



## 【10班】

◎班長

福田 大樹

○副班長

向原 優衣

〔班 員〕

相原 哉汰

大湯 あいみ

園曾 大樹

黒石 晃太郎

清田 実希

西澤 直希

### ◆福田 大樹

今年までしか行けないのが残念くらい楽しかったです。カップの縮み具合や船で寝るという体験など楽しかったです。行けるなら来年も行きたいです。

### ◆向原 優衣

洋上体験研修に参加して、初めての船上生活、初めて他校の友達ができたり、初めてのことをたくさんすることができました。参加すると決めたときは、他の学校の子と話せるかな、船酔いはしないかなと不安だらけでした。

でも、当日になって海にたくさん入ることができました。波の違い、風の強さや海の香り、自分でいつも以上にいろいろなところへ目を向けられました。

次回も参加できるのであれば、参加したいです。新島でたくさんのかんことを感じたいと思います。

### ◆相原 哉汰

- イスが動かないしくみ
- ロープの結び方
- なぜ船よいが起きるのか
- 深海以外でブタメンをちぢめることはできるのか
- どんな深海魚がとれるのか
- 1000mよりも下は行けるのか
- ちがう船の方が速かった
- エンジンが少しうるさくて人の声が聞こえにくかった。



### ◆大湯 あいみ

一日目は不安でしたけど、友達が話しかけてくれたので良かったです。カップが縮むことは半信半疑でしたが、海下に行ったカップを見ておどろきました。海が青い理由がきけて、少し自分の豆知識が広がりました。



### ◆園曾 大樹

この研修で感じたことは、気軽に話しかけてくれてすごくなじみやすかったことです。人見知りで自分からはなかなか話しかけられなかったけど、いろんな人が声をかけてくれたので楽しかったです。ほかにも学んだことは海の生き物の観察や、船の入れない所など見せてくれたので、いい体験になったと思います。また、来年も行けたらいいなと思いました。

### ◆黒石 晃太郎

僕は今回が初めてだったのですが、僕の想像していたのと違っていたので、とても楽しかったです。まず、船の大きさにとっても驚きました。こんな物が海の上に浮いていると思うと、とても驚きました。あと、新島に行けなかった分、同じ部屋の人との交流が深められて楽しく過ごすことができ楽しかったです。ですが新島に行けなかったので少し残念でした。

### ◆清田 実希

学んだこと・感じたこと等

- 他の学校の人とも話せるようになったこと
- 人前に出て話せるようになったこと
- 上級生等、年上の人との接し方
- 魚や動物の種類や生態。
- 自然災害について。⇒津波の起こり方
- 船の構造。
- 金環日食について。⇒月と太陽が重なったときにできる、等
- ロープワーク。⇒ロープの結び方

感想

新島に行けなくてとても残念でしたが、その分特別なことがたくさんでき、とても楽しかったのでまた来年も行きたいです。

### ◆西澤 直希

自分から話しかけてみたら、意外と友達になれた。だから、いろんな事を話せてすごく楽しかった。

学んだことは、海の深くにブタメンとかを沈めたら、圧力がかかって縮むことを知った。他の学校の人とよく話ができて楽しかったので、また来年も行けたら行きたいです。

## 6 指導主任、指導担当の感想

### ◆指導主任 丸野 研二（秦野市教育指導課）



この研修のために組織された『校種も違う指導担当の先生方』と、この研修のために集まった『地区も学年も違う子どもたち』とともに望星丸に乗り込んだ2泊3日。この洋上研修に臨む上で、心に期するものはそれぞれみんな違えども、台風の影響で当初予定された行程からの変更を余儀なくされる中で、「今、自分が何をすべきなのか」を個々が考え、「自分ができること、すべきこと」を実行に移すことで、頼もしい先生方、逞しい子どもたちに自然と姿を変えていった。そして、さまざまな変化に適応していくことで、この研修の趣旨にもある交流や連携、さらには自主性や協調性、人を思いやる心が大いに育まれ、船を降りたのではないかと感じている。

通常、学校行事として実施している『校外学習』や『修学旅行』と違った視点で子どもたちと関わることができたことが、私にとって何より貴重な経験となった。

---

### ◆1、2班 指導担当 小清水 雄太（秦野市立堀川小学校教諭）



1班と2班の指導担当を務めました。

はじめは、どちらの班も緊張した様子で、親交が深まるのか心配していました。研修や話し合いを重ね、少しずつ一人一人が思いを発信したり、間話の話を聞こうとしたりするようになりました。本研修が終わるころには、生徒同士で進んで話し合いを持ったり、手伝いや仕事を探したりする姿勢が見え、立派なチームになっていました。指導担当として、生徒の皆さんが前向きに研修にあたってくださったことをうれしく思います。それと同時に、中学生の持つ可能性と自主性の大切さを改めて感じました。

今回の洋上体験研修でかかわった生徒の皆さんやその保護者の方々、運営スタッフ、指導担当、また送り出してくださいました学校の先生方やお声掛けいただいたすべての方に感謝し、この経験は自身の成長の糧としても大切にしたいと思います。本当にありがとうございました。

### ◆3、4班 指導担当 保坂 美帆（秦野市立大根小学校教諭）



今回の研修を通して、多くの仲間と出会い、船上生活という貴重な体験をすることができました。何よりも、今回初めて出会った中学生と関わり、私自身の指導の幅が少し広がったのではないかと感じています。

子どもたちも、初めて顔合わせをした事前研修と比べ、3日間を終えた子どもたち同士の雰囲気や表情は柔らかく、すっかり打ち解けた様子でした。食事の配膳や片づけ、掃除、スタンプなど、班ごとに子どもたちが協力して行動する場面が増え、とても温かい気持ちになりました。様々な活動を通して主体的に考え、工夫して取り組む姿に、子どもたちのパワー、推進力を感じました。

また、普段交流している友達だけでなく、他の市町村の中学生と共に生活をする経験を通して、子どもたちは一回り成長することができたのではないかと思います。一方で、今後の活動計画の1つとして、子ども同士が目的に向かって話し合い、自分たちで課題解決ができるような活動場面があれば更に深まったのではないかと感じました。

これからの教員生活の折々に活かしていきたいと思える、充実した3日間を過ごすことができました。ありがとうございました。

### ◆5、6班 指導担当 石塚 光（秦野市立南中学校教諭）



事前研修では、まだまだ「自分」を出せなかった研修生たち。班での話し合いもまとまらないことが多かったと思います。

研修が始まり、実際に船に乗ることで班員と生活する時間が長くなりました。船上での三日間、互いに関わり合いながら活動を行っていくなかで、少しずつ研修生たちの関わり方に変化が見られました。天候に恵まれず、楽しみにしていたプログラムができませんでした。海の上など自然とともに生活していくことには付き物です。そのような不測な状況のなかでも、班の皆で支え合い、助け合いながら活動する時間は、かけがえのない貴重な経験になったのではないのでしょうか。新たな人との出逢いや繋がり、初めての経験や発見など学んだことが数多くあったことかと思えます。洋上研修で得たことを自分の力に変え、日常生活のなかでぜひ活かしてほしいです。経験したことは必ず自分の力となります。



◆7、8班 指導担当 伊藤 沙和子（秦野市立渋沢小学校教諭）



出発の日の朝、研修生は出会って間もない友だちと、普段とは違う船内での生活に大きな期待と不安を抱いているように見えました。船内での生活は環境について考えることが多々ありました。食器にラップを引いて食事を行いました。食器洗いやシャワーなどは速やかに行い、わずかな水は大切に使うことを意識していました。

研修生が最も輝いていたのは洋上フェスティバルです。はじめはぎこちなかった話し合いも、回を重ねるごとに自分の意見をはっきりと言う姿が見られ、頼もしさを感じました。それぞれの班が思いおもいの劇やクイズなどを披露することができ、わずかな計画時間でみんなを笑顔にすることができる研修生のパワーに驚きました。人と人との関わりの素晴らしさを感じ取ってくれたことと思います。

今回の研修では日常生活では気づかないことを多く実感することができました。このような貴重な体験をさせて頂いたことを嬉しく思います。様々な関わりの中で学んだことを今後の教員生活にいかしていきたいです。ありがとうございました。

---

◆9、10班 指導担当 宇都宮 祐（秦野市立本町中学校教諭）



今回二泊三日の洋上研修は台風5号の接近により、清水港プランとなりました。研修当日にプランの変更を伝えると、残念に思う生徒も多く見受けられましたが、事前の研修会や班活動の中で、普段の生活では学べない生活体験を得ようと志を高く持って研修に参加した生徒たちは、非常にやる気に満ちていたと感じます。事前研修では、初対面のメンバーになかなか打ち解けることができなかつた生徒も、研修を通して自分の役割を考え行動できるようになりました。2日目に行われた洋上フェスティバルでは、催し物の内容を各班が考え、どの班も面白く楽しい発表を行うことができました。学校では学べないことや日常では体験できない環境の中で、生徒たちはより大きく健やかに成長することができたのではないかと思います。

## 7 運営スタッフ



東海大学 海洋調査研修船望星丸  
二見 洋 船長



東海大学 海洋調査研修船望星丸  
住吉 雅貴 事務長



東海大学 海洋調査研修船望星丸  
乗組員の皆さん



〈実行委員長兼統括責任者〉  
逢坂 伸一



<運営管理者>  
佐藤 正男



<運営担当>  
林 修也



<運営担当>  
大津 美樹



<運営担当>  
諸星 照二



<運営担当>  
綾部 裕史



<運営担当>  
柏木 丹公也



<運営担当>  
井上 佑季



<運営担当>  
鮎沢 裕俊



<運営担当>  
大堂 直人



<看護担当>  
金井 ひかり



<看護担当>  
井手尾 利江



<安全担当>  
齋藤 寛



<安全担当>  
橋本 和希



<安全担当>  
柳 沙知香



## 8 アンケート結果

### ◆研修生へのアンケート（回答64／65人）

Q1 この洋上体験研修を知ったきっかけは何ですか

1. チラシ 28人（43.7%）	2. ホームページ 0人（0.0%）	3. 公民館等のポスター 1人（1.6%）
4. 市町村の広報誌 1人（1.6%）	5. タウンニュース 0人（0.0%）	6. 保護者から 4人（6.2%）
7. 昨年の参加者から 15人（23.4%）	8. その他 14人（21.9%）	○無回答 1人（1.6%）

※「8. その他」の意見 ・昨年参加 ・兄弟から ・友達から ・学校の掲示板

Q2 研修に参加した理由は何ですか

1. 船に乗りたかった 11人（17.2%）	2. 新島へ 行ってみたかった 21人（32.8%）	3. 他校生との交流を したかった 5人（7.8%）
4. 自分が成長できると 思ったから 1人（1.6%）	5. 友達が参加するから 13人（20.3%）	6. 親や先生から 勧められたから 8人（12.5%）
7. その他 5人（7.8%）		

※「5. その他」の意見 ・海について知りたかった ・以前参加して楽しかった  
・人とのかわり方がわかると思ったから

Q3 事前研修の時期はいつが良いですか

1. 平日 23人（35.9%）	2. 土・日曜又は祝日 19人（29.7%）	3. いつでも良い 22人（34.4%）
---------------------	---------------------------	-------------------------

※「1. 平日」の意見 ・土日は部活などの予定がある ・道路が空いている

※「2. 土・日曜又は祝日」の意見 ・学校が休み ・部活が休み

※「3. いつでも良い」の意見 ・夏休み中であればいい

・どちらにしても部活や塾を休む必要があるから

Q4 本研修の時期はいつが良いですか

1. 7月下旬 21人（32.8%）	2. 8月上旬 35人（54.7%）	3. 8月中旬 8人（12.5%）
-----------------------	-----------------------	----------------------

※「1. 7月下旬」の意見 ・台風が少ない ・早めが良い ・8月は部活が多い

※「2. 8月上旬」の意見 ・7月は部活が多い ・夏休みの中間

・今回位がちょうど良い ・お盆休み前だから

※「3. 8月中旬」の意見 ・宿題を終わらせてから ・楽しみを残しておきたい

Q5 本研修の2泊3日という期間はどうか

1. 長い 2人 (3.1%)	2. ちょうどよい 45人 (70.3%)	3. 短い 17人 (26.6%)
--------------------	--------------------------	----------------------

Q6 本研修で一番楽しかったことは何ですか

1. 船上生活 10人 (15.6%)	2. 他校生との交流 28人 (43.8%)	3. 海洋観測 1人 (1.6%)
4. 海洋博物館などの見学 6人 (9.4%)	5. 洋上フェスティバル 11人 (17.2%)	6. 船内見学 4人 (6.2%)
7. ロープワーク 2人 (3.1%)	8. その他 2人 (3.1%)	

※「8. その他」の意見 ・2日目の夜 ・寝ること (船が揺れるから)

Q7 本研修期間中、つらかったことはありますか (プログラム内容、船酔いなど)

1. ない 56人 (87.5%)	2. ある 8人 (12.5%)
----------------------	---------------------

※「2. ある」の意見 ・新島に行けなかった ・船酔い ・容器が縮まなかった  
・フェスティバルがうまくいかなかった ・寝不足  
・朝ごはんがさびしかった ・帰港式で涙をこらえること

Q8 研修に参加して、自分自身が変わったと思いますか

1. 変わらない 25人 (39.1%)	2. 変わった 39人 (60.9%)
-------------------------	------------------------

※「2. 変わった」の意見 ・積極的になれた ・友達ができた  
・人見知りが改善できた ・海に詳しくなった  
・時間を見て行動できるようになった  
・仲間意識が高まった ・様々な考え方を知れた

Q9 他の学校や他の市町村の中学生との交流はどうでしたか

1. 良かった 63人 (98.4%)	2. 嫌だった 0人 (0.0%)	3. どちらでもない 1人 (1.6%)
------------------------	----------------------	-------------------------

Q10 チャンスがあれば、また洋上体験研修に参加したいですか

1. 参加したい 52人 (81.3%)	2. 参加したくない 2人 (3.1%)	3. わからない 10人 (15.6%)
-------------------------	-------------------------	-------------------------

Q11 今回のプログラム以外にやってみたいこと、知りたいことはありますか

※自由意見 ・深海の生物について知りたい ・海水浴 ・釣り ・世界一周  
・長い期間の研修 ・BBQ、カレー作り ・船の仕組み、重さ  
・マリンスポーツ ・海底の映像を見たい ・新島に行きたい  
・深海と浅い面の海水の比較 ・洋上フェスティバル以外の勝負

## ◆研修生の保護者へのアンケート（回答60人／65人）

Q1 この事業を知ったきっかけは何ですか

1. 子どもから 14人（23.3%）	2. 友達の保護者から 9人（15.0%）	3. 昨年の参加者（の保護者）から 3人（5.0%）
4. 学校（先生）から 17人（28.3%）	5. PTA 総会のチラシ 6人（10.0%）	6. ホームページから 0人（0.0%）
7. 公民館等のポスター 0人（0.0%）	8. 市町村の広報誌 6人（10.0%）	9. タウンニュース等 タウン誌 0人（0.0%）
10. その他 5人（8.3%）		

※「10. その他」の意見 ・兄、姉が参加したから ・昨年度も参加

Q2 この研修に申し込んだ理由は何ですか

1. 参加者本人の希望 44人（73.3%）	2. 保護者から勧めた 12人（20.0%）	3. その他 4人（6.7%）
---------------------------	---------------------------	--------------------

※「3. その他」の意見 ・過去の参加者からの勧め ・先生からの勧め

Q3 参加者負担金（18,000円）はどうですか

1. 相応だと思う 38人（63.3%）	2. 高い 7人（11.7%）	3. 安い 12人（20.0%）
○無回答 3人（5.0%）		

※「1. 相応だと思う」の意見 ・船での2泊なので ・参加させやすい金額  
・今年のように停泊が長いと高い気がする

※「2. 高い」の意見 ・新島に行けず、船が動かなかったので

※「3. 安い」の意見 ・船での2泊3日なので ・新島に行った場合には安い

※「○無回答」の意見 ・費用の内訳がわからないので、何ともいえない

Q4 事前研修の時期はいつが良いですか

1. 平日 19人（31.7%）	2. 土・日曜又は祝日 13人（21.7%）	3. いつでも良い 27人（45.0%）
○無回答 1人（1.7%）		

※「1. 平日」の意見 ・土日は部活などの予定がある ・道路が空いている

※「2. 土・日曜又は祝日」の意見 ・平日は部活や塾がある ・送迎ができない

※「3. いつでも良い」の意見 ・どちらにしても部活や塾を休む必要があるから



Q5 本研修の時期はいつが良いですか

1. 7月下旬 17人(28.3%)	2. 8月上旬 38人(63.3%)	3. 8月中旬 1人(1.7%)
○無回答 4人(6.7%)		

- ※「1. 7月下旬」の意見
  - ・台風が少ない
  - ・早めが良い
  - ・8月は部活が多い
  - ・宿題に反映しやすい
- ※「2. 8月上旬」の意見
  - ・7月は部活や模試が多い
  - ・夏休みの中間
  - ・今回位がちょうど良い
  - ・お盆休み前だから
- ※「3. 8月中旬」の意見
  - ・これ以前は部活動が多い
- ※「○無回答」の意見
  - ・お盆以外なら
  - ・7月上旬ならば新島で泳げるのでは

Q6 この研修は、台風などの天候によって目的地新島に渡航できない場合、今回のように代替スケジュールを実施しています。この対応について、どう考えますか。

1. 新島への渡航ができないのであれば、中止すべき 6人(10.0%)	2. 今回のように代替スケジュールで実施すべき 36人(60.0%)
3. どちらともいえない 16人(26.7%)	4. その他 2人(3.3%)

- ※「1. 中止すべき」の意見
  - ・台風なのに、どこで何をしているのかわからない
  - ・部屋で過ごすことが多かったときき、部活や塾を休んでまで、と思った。
  - ・今回のように商業施設で過ごすのであればやらない方が良い
- ※「2. 代替スケジュールで実施すべき」の意見
  - ・他校生との交流や船上生活は、新島でなくともできる。
  - ・研修を楽しみにしているのに、全く無くなってしまうのは残念。
  - ・一番スムーズに行く方法だと思う
  - ・代替スケジュールの内容は見直すべき
  - ・どんな状況であっても学ぶことはある
  - ・代替スケジュールでも、子どもは満足したよう
  - ・どんな状況にも対応できる力がつく
- ※「3. どちらともいえない」の意見
  - ・新島での活動が魅力的だったため、中止でも良かった
  - ・貴重な時間を停泊で過ごすのは、親としては微妙
  - ・予備の日程があればよかった
  - ・安全第一で、台風が直撃の時は中止が良い
  - ・代替スケジュールの研修を考えてほしい
- ※「4. その他」の意見
  - ・船の構造部をじっくり見れたり、今回とても良かったと思う
  - ・延期してほしかった

Q7 他の市町村の中学生と交流したことについて

1. 良かった	2. 良くなかった	3. どちらでもない
60人(100.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)

※「1. 良かった」の意見

- ・交流の幅が広がった
- ・将来的にも良い経験になった
- ・視野が広がる
- ・初対面の相手とのコミュニケーションの取り方を学べたと思う
- ・色々な考えを持った人達の中で、沢山刺激を受けられる

Q8 この研修に参加して、お子さんの態度や考え方が変わったと思いますか

1. 変わった	2. 変わらない	○無回答
21人(35.0%)	38人(63.3%)	1人(1.7%)

※「1. 変わった」の意見

- ・積極的になった
- ・大きくは変わらないが、自分の考えで行動できている
- ・体験してきたことを楽しそうに話してくれたので、得る物があったのでは
- ・船のことに興味を持つようになった
- ・人見知りの部分が多少改善できた
- ・友人関係を広げることに積極的になった
- ・手伝いを少ししてくれた
- ・町外への視野が広がり、興味を持ち、恐怖心がやわらいでいる

※「2. 変わらない」の意見

- ・停泊だったので
- ・短期間では難しい
- ・二回目の参加で余裕が出てしまった
- ・すぐには変わらないが、後々糧になると思う
- ・思い出、経験として良かった

Q9 自由意見

※本事業の継続を望むご意見や、スタッフへの心温まるお言葉を多数いただきましたが、割愛させていただきました。ありがとうございました。

- ◆ 前回は楽しかったので、本人の希望で申し込んだ。前回は新島で楽しかった分、今回は少しものたりなかったと。しかし、天候が悪かった為で新島に行ければ、ぜひ継続してもらいたいと思います。
- ◆ 生きていく上で人との関わりは切り離せない。初対面とは話すのが苦手なため、回数を重ね新たな出会いが楽しいこと、世の中にはいろんな人、考えがある事を学んでほしい。友達と申し込んでいる人もあると思う。友達と同じグループでも良いと思う。グループ全てが友達でなく、友達が1人いるだけで心強く、自分を出しやすいかも。1人で、も大事とも思うが。息子は、来年は行かないかな、と言っていたので。
- ◆ 子どもの友人から誘われての参加となりました。周囲の人からも、洋上体験はとても楽しいとの話を聞いていたので、進んで応募しました。内容を見ると、デッキの掃除等もあり、ただ楽しいだけではない、船上の生活を体験させていただける点に興味を感じました。天候上の理由から出航できなかったのは残念でしたが、他町村の面識のない同世代と時間を共有できたのは新鮮だったようです。去年は英語村に参加しました。こちらも大変身になる機会だったのですが、女子が多かったのに対して洋上体験は男子も多いというのが娘にとっては新しい体験でした。メンタル的な変化はなく、穏やかに出発し、穏やかに帰って来ました。大海原や水平線等、日の出日の入り、砂浜・・・これらの経験ができなかったのであまり変化がなかったのも致し方ないと思っております。来年もまた参加したい!!と話しておりましたので、大きな変化は出航できた時にまた期待したいと思います。

- ◆ 一斉メールやホームページなどでいいので、状況などがわかるといいと思う。あと写真や動画などみたいです。
- ◆ 期待というより、他校の生徒と交流することで、中学生活での慣れた友達ではなく、自分の感情をコントロールすることの難しさなどが学べたのではないか。
- ◆ スケジュールの変更があり、天候を見ながらの行動だったので、保護者としては全く日程が分からなかったので、少し不安な部分もありました。何か情報が把握できるとよかったかと思いました。
- ◆ 何でもそろうた不自由ない生活をしているので、船上での制限のある生活を体験させたいと思いました。また、知らない人の中でも自分なりに友達を作り、協力して楽しく過ごす経験をさせたかったのも、参加させた理由です。これらの事を体験させることができ、自立心が芽生えた様子で、参加させて良かったです。
- ◆ 船での生活なんてなかなかできるものではないので、体験させてあげたかったのと、他校の中学生との交流は良い経験にもなるので参加させたかった。疲れたけれども楽しかったようです。なかなか目に見えて研修の成果は見られませんが、参加させて良かったと思います。
- ◆ なかなかできない体験をさせたいと思いました。普段見ること、感じるができない場所へ行き、新しく知り合った仲間と共に生活をして欲しいと思ったからです。今の時期しか感じない視線で新たなものを見て欲しいという思いもありました。今回は台風の為、やむをえずプログラム変更がありましたが、それでも充実した研修だったようです。是非来年も参加させていただき、今回できなかった体験をして欲しいと願います。
- ◆ まずはお友達と過ごす楽しさや、新しいお友達を作ること。年齢を問わず行動する班や協力しあうことの重要性を学ぶので、とても良いと思っています。島探検、海、星、温泉など全て楽しみにしていました。又、専門家の先生に教えていただける事は大変に有難いと思います。今後子ども達のためにやってほしいです。清水港に停泊の場合のスケジュールも教えてほしかったです。メールでも良いので。市のHPとか。
- ◆ 「家族と一緒に」ではない外泊、船に乗る体験をさせたく応募しました。うちの家庭では船が身近ではないので。勉強の事を気にせず遊べるのは中学1年生までだろうと思うので、友達やスタッフの皆さんと思い出が作れてよかったです。下の子が中学生になったらまた応募してみたいと思います。「船酔いしてもこんなふうに楽しめます」というような説明がプリントに書いてあったら応募者は増えるのではないのでしょうか。
- ◆ 雨で出航できなかったのがとても残念でした。ショッピングモールでの買い物はちょっとどうなのだろう、とってしまいました。子どもは楽しかったし、また来年も行きたいと言っていますが、また雨で同じようなスケジュールならちょっと残念だなと思います。できたら予備日をもうけて行ってほしいです。
- ◆ 新島に行かせてあげられなかったのがとても残念でした。でも、楽しそうだったので良かったです。
- ◆ 初めて参加しましたが、天候に恵まれず残念でした。しかし、他の市町村の中学生と交流する事ができたので、刺激になったと思います。親から離れての2泊3日、自分の事は自分でやり、考え、行動するという経験が今後の成長につながってくればいいと思います。



- ◆ 集団行動、自分の立場、責任の持ち方を期待していましたが、そう簡単にはいかないようでした。家に帰ってきてまではその期待していたものは持続せず、甘え、だらだら生活にもどってしまったので残念です。
- ◆ 初めて会う人とどう交流していくか、これから先も大切な事だと思うので、この様な体験でしっかり行動できるようになってほしいです。不安もあった様ですが、行ってしまえば、楽しい時間が過ごせた事が良い思い出となりましたね。
- ◆ 行く前は不安な面もありましたが、帰ってきたときの表情を見たら、大変満足している様子でした。一人旅をする機会が今までなかったので、この様な研修に参加させる事ができて親子で大変満足しています。家族ではなく、クラスの友達でもなく、お互いに初めて同士の共同作業や寝食を共にする、楽しく過ごせた事の達成感は一生の宝になると思いました。
- ◆ 二回目の参加、予定とは違うスケジュールになってしまいましたが、楽しかったようで元気な笑顔で帰ってきました。部活の大会でいつもは敵同士の子と仲良くなれたようです。予定が変わって行った先の水族館は小学校の遠足で行った事があったので少し残念がっていました。雨天時のスケジュールでも、新島に負けないような楽しい企画を立てておいてもらえると良いなと思いました。
- ◆ もう中学生ですので、自立を促すためには何でも自分でしなければいけないのですが、保護者への説明が足りなかったように思います。事前研修の延期もとてもギリギリです。何を準備しなければならないのかが分からず、買い出しに行けたのも2日前でした。また、台風が来ていたことは数日前から分かっており、代替スケジュールがある旨の連絡はほしかったです。研修中は自分の子どもが今どこにいるのか分からない不安はもう二度と経験したくありません。期間中は地震もあり、本当に嫌な思いをしました。現在はSNS等を利用すれば、最低限の情報を送れます。とてもすばらしい研修ですので、来年も参加させたいとお思いますが、改善していただけるとありがたいです。大変厳しい事を申しまして、申し訳ありません。子どもはとても楽しかったと色々話してくれました。
- ◆ 代替スケジュールになった場合のスケジュールも手元にあったら良かった。
- ◆ 今回、初めて「自分一人で参加する」と言った時、まず「すごい！」と感心しました。親元から離れて、また初対面の仲間との交流に、とても意欲的だったので、参加を快く受け入れました。家では甘えが出ますが、外に出た時、自分自身で周りの方とコミュニケーションを取りながら協力して、大切な学びの時間を過ごす事が出来て、とても良かったと思います。貴重な体験をさせていただき、とても良い顔で帰ってきました。
- ◆ 安全確保が最優先なので、今回の判断は正しかったと思います。でも、前述しましたが、部活や塾を休んでの3日間なので、新島へ行けないなら中止というのもありではないかと思えます。新島へ行っても行かなくても18,000円だというのも、今回のようななら正直もったいなかったな・・・と思ってしまいます。我が子は中1なので、来年新島へ行けるなら行きたいと言っていますが、今回のようならもういいかな、と言っています。今回のパターンを経験した親としても、中止バージョンがあるならまた申し込みたいと思っています。でも！子どもは今回参加してとても楽しかったと言っています。水族館とか船内探検とか・・・。
- ◆ 宿泊研修なので親がいない中、自分の事は自分で考え行動する事は貴重な体験だったと思います。また団体行動の為、規則を守り、色々な人と（大人子どもを含め）関わりながら生活するので、自分で考え行動する機会がもてたと思います。なによりも、大きな船の中で実際に色々体験できたのは、とても貴重な体験だったと思います。今回天候不良により新島に行けず残念でしたが、本人はそれなりに満足し笑顔で帰ってきました。

- ◆ 私も小学6年生の時に、地域のリーダーを育成するという企画(だったと記憶しています)に参加し、他校の生徒と1年間交流したことがありました。その後、高校生になったとき、その時に知り合った人と再会し、本当にうれしくて、何て素晴らしい体験なのだろう!と思ったものです。今回娘が参加したいと言った時、知らない人の中にも入っていこうとする勇氣、期待でいっぱい瞳を見て、何ていい企画だろうと思いました。(私はこういった企画を知らなかったもので・・・)
- ◆ 他の学校の子とも仲良くなってほしい(人見知りがはげしいので)それを少しでも良くなってほしいなあと思い参加させました。新島へ行く事をすごく楽しみにしていたので、今回行けなくなり、とても残念でしたが、代替スケジュールでもかなり楽しく過ごせたようです。
- ◆ 初めて会ったお友達と協力して楽しい時間を過ごせたことは、今後の人間関係を構築していく上でとても良い経験になったのではないかと思います。本当にありがとうございました。ただ、一点気になることがありました。どういう流れでかよく分かりませんが、自殺するときのロープのしぼり方を教わったと本人が話していました。こういう話はあまり必要性が感じられず、むしろするべき話題ではないと感じました。
- ◆ 2度目の参加です。昨年は新島に行けたので、今年も行きたい!と言われ参加。残念ではありますが、自然の力には勝てないけれど、代案があるので、あれば腐っているよりも、その状況を楽しむ事を選んだ方が良くという事が自然と身についている様で、2泊3日、とても楽しかった様です。自宅、学校、塾の往復だけでなく、自分の活動エリア外に出て、他市町村の同世代の子と接する事により、意思表示をする事や、他人の意見を取り入れる事の大切さを、身をもって知ったのか、少し成長?した気がします。来年は受験生ですが、本人が行きたいと言うのであれば、またぜひお願いしたいと思います。
- ◆ 新島や星空を見せてあげられなかったのは残念ですが、仕方ないですね。でも子どもなりに楽しめたようなので良かったと思います。素晴らしい事業だと思いますが、全体の参加数が思いのほか少なかったのでおどろきました。忙しいのか、事故が心配なのか……。私は多様な経験をさせたいと思っていたので、丁度良かったです。たまには不便な不自由な、気を使う生活をさせることも必要だと思います。
- ◆ 天候が悪く、出来なかった事もありましたが、中止になる事なく、それに代わる他の体験が出来て良かったと思います。来年も参加したい!とはりきって帰ってきた姿を見て、とてもうれしく思いました。
- ◆ 他にはない(できない)体験、経験の機会の場をこうして大人が考え準備をし、実施して見守られる中で子ども達は仲間と出会い、その中でたくさんの新たな体験、発見・・・様々な経験をして、それは彼らの心の成長の為の栄養となることなのでしょう。こういった事業を継続するという事はとても大変なことなのでしょうけれども、子ども達への教育は大人の責任です。どうか今後もこういった研修の場を子ども達のためにつくってあげられる社会、教育現場であり続けてほしいと願います。来年も参加してほしいと思います。
- ◆ 小学生の頃からポスターを見て、中学生になったら参加させてあげたいと思っていました。海洋生物が好きで、海のことを好き、将来海洋生物について勉強したいという夢があり、東海大学の望星丸に乗れること、海の話が聞ける事が本当に楽しみにしていました。今回は新島に行かれませんでした、「次回、次々回と参加したい」と帰ってくるなり一番の発言でしたので、今後もぜひ事業を継続させていただきたいと考えています。他校の生徒との交流も楽しく、子どもの成長にとってとても貴重な機会を与えていただいて、感謝しております。

- ◆ 台風時の対応をどのようにするかなど、出発前に書面などで把握できたらよかったです。サメを見たり、博物館を見学したり、本人は満足していました。
- ◆ 今回、兄も入れて4年目のお世話になりました。旅行法の関係で無くなってしまいかも思っていたのですが開催していただきありがたかったです。この航海で兄も世界が拡がり高校2年になった今でも連絡を取りあっている様です。友人を作る事が苦手な子も増えているのでこのような機会をたくさん作って下さい。
- ◆ 同世代の仲間と寝食を共にするという経験はその時にしかできない貴重な事だと考えています。人との関わり、コミュニケーションの大切さを学び、子供達がひとまわり大きく成長できると考えます。
- ◆ 天候により渡航できないのは仕方のない事だと思いますが、渡航せず清水港に停泊ならその旨連絡してもらえないのか？と思います。新島へ行っていると思っているので新島の天候や海や波の状態を気にしたり調べたりしていたので。今後も参加させたいとおもっているので変更事項がある時は最低限の連絡は欲しいと思います。
- ◆ 兄姉に続き3年間参加させていただきました。今回は、台風の影響で例年と違うスケジュールでしたが、かえて新鮮で楽しかったそうです。海洋科学博物館の生きている時の姿のままの冷凍標本を見学できたのはとても印象に残ったようです。港に停泊中、ずっとかなりの揺れが続いていることに気づき「港でこれだけ揺れるなら、洋上に出るのは無理だなと納得したり。研修カリキュラム以外の部分でのいろいろな気づきがありました。残念ながら来年からは参加できませんが、貴重なこの研修が続いていくといいと思います。お世話になりました。
- ◆ 初めて顔を合わす見ず知らずの同年代との交流の中で自分の考えをきちんと口に出して言え、また相手の自分と違う考え方や意見に耳を傾け受け止める経験や外洋に出たときの船の揺れを体験させたくて参加させました。今回台風の影響で新島へ行くことができず、島での体験活動はできませんでしたが、ルームメイトや班活動等での交流はとても楽しかったようです。親としては、代替メニュー内容にもよりますが、今回のように（子ども達が楽しめるようにとの配慮でだと思われそうですが）ドリームプラザで過ごすのであれば前日新島へ渡航できないことが決定した時点で、5年前の台風で渡航できなかったときのように潔く中止にされたほうがよいのではないかと思います。
- ◆ 釣り好きから海や川が大好きなので毎日必ず自然、天候、海の潮、風、波を調べています。本人の研修レポートでは、自信のある書き方をしていますがまだまだの所が大部分です。今後どうぞよろしくお願い致します。子供達がより成長できる企画を楽しみにしています。
- ◆ 他校の友だちと様々な経験が出来ると思い参加させました。深海の実験や星空観測、海水浴を楽しみにしていましたが、天候の影響では仕方がなく残念な思いもあったようです。はじめて会う子ともすぐに友だちになれたようで、とても楽しかったと話していました。準備等、とても大変だと思いますが、子ども達にとっては良い経験になるのではないのでしょうか。
- ◆ 洋上での生活を体験できたことは、とても良かったと思います。このような研修が相次いで中止になってしまった時期に、短期間で再募集→研修実施と動いて下さった職員の方々、本当にありがとうございました。
- ◆ 期待していたのは、知らない場所や人の中でも皆と一緒に行動できるようになること。是非、継続して欲しい。できれば来年も参加させたいと思う。



- ◆ 大変お世話になりました。なかなか出来ない体験をさせて頂き感謝しております。我家には、4人の子供がいます。そのうち3人が参加させて頂いてまして、長女、長男とも参加しました妹に「楽しいし、景色も素晴らしいし、星が見たことない程きれいなので、行った方がいい。」と言っておりました。また、長男が参加した時に出来た友達が2回も遊びに来てくれました。友達のはばも広がり、カップ麺の水圧実験も貴重な体験ですね。
- ◆ 新しい仲間を作ったり、意見を伝えたりすることが苦手な子です。(今、そういう子が多くなっていますよね) また、色々な体験することも時間が足りないくらい忙しい中学生が増えています。勉強だけでなく、人と向き合ってコミュニケーションをとることや、色々な世界があることを知るためにとてもすばらしい研修だと思います。我が子もとても楽しく参加して帰ってきました。
- ◆ 少人数の中で育っている為世間知らずで考えが偏りがちな所があるので色々な考え方や見方、人がいることをしてほしいと思い参加させました。新しい友達を作ることに消極的な所もあったので今回友達が出来たことをとてもうれしく思っています。これを期に色々なことに積極的に取り組んでくれたらと思っています。ショッピングセンター(?)で自由時間があったと聞いています。うちはゲームセンターに行っただけですが研修なのでどうなのかなあとは思いました。スマホの使用は禁止と聞いていましたが…。
- ◆ 普段狭い人間関係の中で生活をしているので、このような貴重な体験をさせて頂いてとても感謝しております。本人は何よりも気の合う仲間に出会えた事が本当に嬉しかったようで、お友達と過ごした思い出をたくさん話してくれました。帰ってきた息子の笑顔がこの体験の良さを感じさせてくれました。
- ◆ 普段体験出来ない事を体験させたいと思い子どもが希望したのでOKを出しました。今回は新島へ行けなかったのが残念でしたが船に宿泊したり、他の中学生と交流したりと良い体験をさせて頂きました。本人も楽しかったと言っていたので行かせて良かったと思えました。
- ◆ せまい地域の中でくらししているとどうしても人とのかわりがかたよった物になります。いろいろな人と知り合い、いろいろな考え方、つきあい方などを学んでくれればと思い参加させました。本人はとても楽しくすごせた様子でよかったです。

# 9 資料

## ◆東海大学 海洋調査研修船「望星丸」概要

### 1 資格

遠洋、国際航海、旅客船(第一種船)、  
(海洋調査練習船)

### 2 船級

NK:NS\*MNS\* Ice Class ID  
Passenger/Training Ship

### 3 主な内容

ア	全長	87.98m
イ	垂線間長	75.00m
ウ	幅(型)	12.80m
エ	深さ(上甲板、型)	8.10m
オ	満載喫水	4.80m
カ	国際総トン数	2174 t
キ	登録総トン数	1777 t
ク	燃料油タンク	401m <sup>3</sup>
ケ	清水タンク	185m <sup>3</sup>
コ	バラストタンク	345m <sup>3</sup>
サ	試運転最高速度	19.10ノット
シ	航海速度	17.00ノット



望星丸は、海洋調査・研修公開・航海実習に使用される多目的船です。

海洋・水産調査の機器を備えており、東海大学海洋学部の実習・研究を行うほか、官公庁の調査研究や関係機関との交流事業・海洋イベントの母船としても活躍しています。

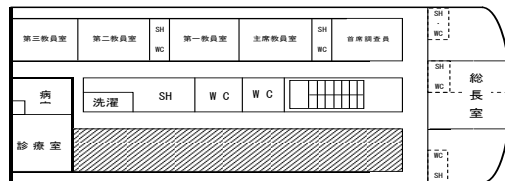
### 4 乗船定員

ア	乗組員	33名
イ	教員・調査員	17名
ウ	実習研修学生	120名
エ	練習学生	20名
		計 190名(含乗組員)

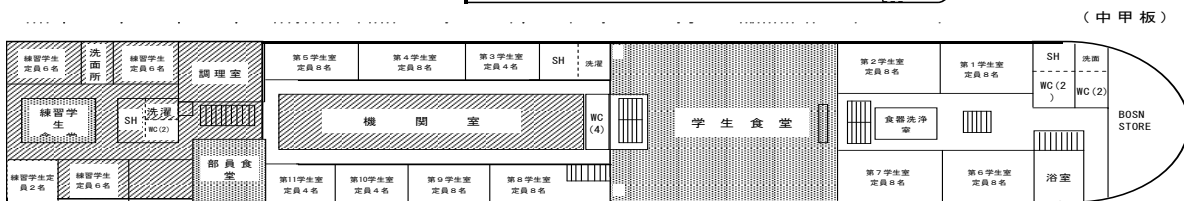
### 5 安全設備

ア	救命艇	部分閉囲形89名定員	信貴造船	2艇
イ	救命艇	複合型6名定員	東洋ゴム	2艇
ウ	救命筏	膨張式25名定員	三菱電機	4組
エ	CO2固定消火装置(機関室用)		川重防災	1式
オ	スプリンクラー装置		能美防災	1式
カ	火災探知警報装置		能美防災	1式

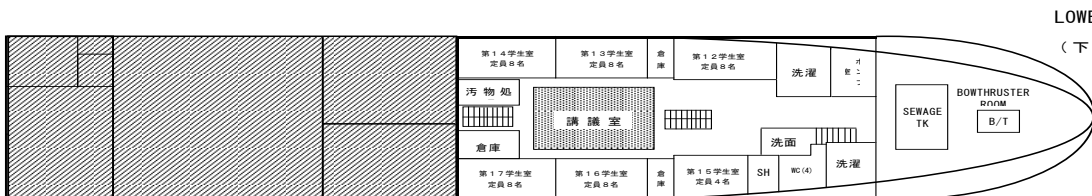
望星丸の概要  
(居室配置図)



BOAT DECK  
(船艇甲板)



(中甲板)



LOWER DECK  
(下層甲板)

WC: トイレ  
SH: シャワー

## 平成29年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施要項

### 1 趣旨

この事業の趣旨は次のとおりとする。

- (1) 秦野市、中井町、大井町、松田町、二宮町及び清川村（以下「1市4町1村」という。）が市町村の枠を越えて東海大学の望星丸を用船し、中学生の体験研修事業を連携して行う。
- (2) 1市4町1村の中学生が船上の集団生活を通じて交流と連帯を深めることにより、自主性、協調性及び他人を思いやる心を養う。また、日頃経験できない洋上生活を行うことで心身を鍛える。
- (3) 海洋観測や星空観察、島の歴史や自然にふれあうことにより、自然のすばらしさ、厳しさを体験する。

### 2 主催等

主催 秦野市・秦野市教育委員会

共催 中井町・中井町教育委員会、大井町・大井町教育委員会、  
松田町・松田町教育委員会、二宮町・二宮町教育委員会、  
清川村・清川村教育委員会

### 3 事業の概要

#### (1) 事前研修

本事業に参加する中学生（以下「研修生」という。）に対して、本事業の趣旨、内容等についての理解を深め、本研修に必要な準備をさせるとともに、研修生相互の交流を図る。

また、団体行動の規律を徹底させ、本研修における各自の役割を分担させる。

・期日 平成29年7月26日（水） 午前10時～午後3時（予定）

・場所 はだのこども館 多目的ホール

#### (2) 本研修

・期日 平成29年8月1日（火）から3日（木）まで2泊3日

・行程 秦野市役所→清水港→新島→清水港→秦野市カルチャーパーク  
（秦野市役所～清水港は大型バスを利用）

・使用船舶 学校法人東海大学海洋調査研修船「望星丸」1, 777t

・内容 船上…海洋観測、星空観察、グループワーク、

洋上フェスティバルなど

陸上…海水浴、ウォークラリー、露天風呂など



#### 4 広域連携中学生交流洋上体験研修事業参加者の構成

(1) 広域連携中学生交流洋上体験研修事業参加者は総勢86名とし、構成は次のとおりとする。

1	統括責任者	1名
2	運営管理者	1名
3	指導主任	1名
4	指導担当	5名
5	看護担当	2名
6	運営担当	8名
7	安全担当	3名
8	研修生	65名

(2) その他、当事業の実施に当たり実行委員長が必要と認めた者については、定員の範囲内において参加を認める。

#### 5 構成員の任務等

##### (1) 任務

ア 統括責任者は、参加者を代表するとともに、全体を統括する。

イ 運営管理者は、統括責任者を補佐するとともに看護担当、運営担当を指導し、東海大学など外部との調整を行い、参加者全体を統括する。

ウ 指導主任は、統括責任者と連絡を密にするとともに、指導担当を統括し助言を与える。

エ 指導担当は、指導主任と連絡を密にするとともに、研修プログラムの企画運営及び研修生の指導的役割を担当する。

オ 看護担当は、参加者の保健、衛生について担当する。

カ 運営担当は、運営管理者及び指導主任と連絡を密にするとともに、庶務を担当する。また、指導担当を補助し、研修生の活動を支援する。

キ 安全担当は、船内や船外での研修生の活動時の安全確保や緊急時対応を担当する。

ク 研修生は、団体行動のもとに研修に参加し、役割を分担する。

##### (2) 選任等

ア 統括責任者については、実行委員会が指名するものとする。

イ 研修生の決定は、応募者の中から応募資格の規定に基づき、予め実行委員長が行い、実行委員会の承認を得るものとする。

ウ 研修生として不適当と認められる者については、研修前後を問わず研修生の資格を取り消すものとする。

エ 事業の円滑な実施を図るため、広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会を設け、その組織・運営については、実行委員会で決定する。

## 6 研修生応募資格及び募集方法

### (1) 応募資格

- ア 1市4町1村に居住している中学生。
- イ 事前研修を含め、全日程に参加できる人。
- ウ 本研修後、研修レポートを提出できる人。
- エ 主催者の指示、注意を守り、規律ある集団生活ができる人。
- オ 健康状態が良好である人。

### (2) 募集方法

公募とし、所定の参加申込書に必要事項を記入のうえ提出する。

### (3) 募集期間

平成29年5月15日（月）から6月2日（金）まで

## 7 研修生の参加負担金

参加する研修生の負担金は、18,000円とする。

## 8 その他

この要項に定めるものの他、本事業の実施に関し必要な事項は別に定める。

## 附 則

この要項は、平成29年4月25日から施行し、この事業が終了する日限り、その効力を失う。

## 平成29年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会規約

### (名称)

第1条 本会は、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会と称する。

### (目的)

第2条 本会は、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施要項の趣旨に従い、洋上体験研修事業について協議する目的で設置する。

### (事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を推進する。

- (1) 事業の企画立案、実施及び評価・反省に関すること。
- (2) 運営委員会の組織・運営等に関すること。
- (3) 目的を達成するための調査・研究に関すること。
- (4) その他、目的達成に必要な事項に関すること。

### (構成)

第4条 本会は、秦野市、中井町、大井町、松田町、二宮町及び清川村(以下「1市4町1村」という。)の教育関係者、行政関係職員及び学識経験者10名で構成する。

### (役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 実行委員長 1名
- (2) 副実行委員長 2名
- (3) 監査 1名

2 役員は、委員の互選とする。

3 実行委員長は、本会を代表し、事業の総体的事項を統括する。

4 副実行委員長は、実行委員長を補佐し、実行委員長に支障があるときは、その職務を代行する。

5 監査は、会計の監査にあたる。

### (顧問)

第6条 事業の総合的な企画・運営に関する相談役として顧問を置く。

2 顧問は、1市4町1村の教育長とする。

### (会議)

第7条 本会は、実行委員長が招集する。

2 会議の議長は、実行委員長がこれにあたる。

### (事務局)

第8条 本会の事務局は、1市4町1村の生涯学習主管課とする。なお、事務所は秦野市市民部生涯学習文化振興課内に置く。

2 事務局は、実行委員会との連絡調整及び事業推進にあたる。

### (その他)

第9条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は実行委員会の中で協議して定める。

### 附 則

この規約は、平成29年4月25日から施行し、この事業が終了する日限り、その効力を失う。



平成29年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員名簿

	団体名	氏名	所属	役職
1	学識経験者	逢坂 伸一	東海大学名誉教授、秦野市社会教育委員会議長	実行委員長
2	P T A 関係者	吉田 信貴	秦野市P T A連絡協議会会計	監査
3	秦野市教育関係者	石川 一郎	秦野市立東中学校長	副実行委員長
4	中井町教育関係者	米山 伸	中井町立中井中学校長	
5	大井町教育関係者	小林 俊哉	大井町立湘光中学校長	
6	松田町教育関係者	植松 さとみ	松田町立寄中学校長	
7	二宮町教育関係者	松本 雅志	二宮町立二宮西中学校長	
8	清川村教育関係者	奥脇 裕子	清川村立緑中学校長	
9	行政関係職員	諸星 勝	秦野市政策部長	
10	行政関係職員	正岡 義海	秦野市市民部長	副実行委員長

実行委員会顧問

1	秦野市教育委員会教育長	内田 賢司
2	中井町教育委員会教育長	岩本 明人
3	大井町教育委員会教育長	夏苺 一壽
4	松田町教育委員会教育長	吉田 保夫
5	二宮町教育委員会教育長	府川 陽一
6	清川村教育委員会教育長	岩澤 吉美

事務局

1	秦野市市民部生涯学習文化振興課	課長 佐藤 正男、主査 林 修二、主事補 大津 美樹
2	秦野市政策部企画課	主任主事 諸星 照二
3	中井町教育委員会生涯学習課	主事補 綾部 裕史
4	大井町教育委員会生涯学習課	主事 柏木 丹公也
5	松田町教育委員会教育課	主事補 井上 佑季
6	二宮町教育委員会生涯学習課	主事補 鮎沢 裕俊
7	清川村教育委員会事務局	主事補 大堂 直人

## 平成29年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会規約

### 1 構成及び選任について

広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会（以下「運営委員会」という。）は、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施要項（以下「要項」という。）に基づき、原則として21名で構成する。

また、選任については、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会が決定する。

### 2 任務について

運営委員会は、要項に基づき広域連携中学生交流洋上体験研修事業（以下「研修事業」という。）の研修プログラムの運営及び研修生の指導的役割を担う。

### 3 運営委員会の役割分担について

研修事業を円滑に運営するため、役職を次のとおり定める。

また、指揮系統を明確にするための組織図は別紙のとおりとする。

1 統括責任者	1名
2 運営管理者	1名
3 指導主任	1名
4 指導担当	5名
5 看護担当	2名
6 運営担当	8名
7 安全担当	3名

### 4 運営委員会議の開催について

運営委員会議は、秦野市市民部生涯学習文化振興課（以下、「生涯学習文化振興課」という。）と調整しながら随時開催するものとする。

### 5 その他

この規約に定めるほか、本事業に関して必要な事項は運営委員会と生涯学習文化振興課で協議する。

### 附則

この規約は、平成29年4月25日から施行する。

## ＜ 運営スタッフ名簿 ＞

### [本部スタッフ]

No.	役割	氏名	性別	所属	職名
1	統括責任者	おうえか 逢坂 伸一	男	秦野市社会教育委員会議	議長
2	運営管理者	さとう 佐藤 正男	男	秦野市生涯学習文化振興課	課長
3	運営担当	はやし 林 修也	男	秦野市生涯学習文化振興課	主査
4	運営担当	おおつ 大津 美樹	女	秦野市生涯学習文化振興課	主事補
5	運営担当	もろほし 諸星 照二	男	秦野市企画課	主任主事
6	運営担当	あやべ 綾部 裕史	男	中井町生涯学習課	主事補
7	運営担当	かしわぎ 柏木 丹公也	男	大井町生涯学習課	主事
8	運営担当	いのうえ 井上 佑季	男	松田町教育課	主事補
9	運営担当	あゆざわ 鮎沢 裕俊	男	二宮町生涯学習課	主事補
10	運営担当	おおどう 大堂 直人	男	清川村教育委員会事務局	主事補
11	看護担当	かない 金井 ひかり	女	秦野市健康づくり課	保健師
12	看護担当	いでお 井手尾 利江	女	清川村保健福祉課	保健師
13	安全担当	さいとう 齋藤 ひろし	男	東海大学海洋学部	教授
14	安全担当	はしもと 橋本 和希	男	東海大学海洋学部 ライフセービング部	学生
15	安全担当	やなぎ 柳 沙知香	女	東海大学海洋学部 ライフセービング部	学生

### [指導スタッフ]

No.	役割	氏名	性別	所属	職名
16	指導主任	まるの 丸野 研二	男	秦野市教育指導課	指導主事
17	指導担当	こしみず 小清水 雄太	男	秦野市立堀川小学校	教諭
18	指導担当	ほさか 保坂 美帆	女	秦野市立大根小学校	教諭
19	指導担当	いとう 伊藤 さわ子	女	秦野市立渋沢小学校	教諭
20	指導担当	うつのみや 宇都宮 祐	男	秦野市立本町中学校	教諭
21	指導担当	いしづか 石塚 ひかる	男	秦野市立南中学校	教諭



# 平成29年度運営委員会組織図

統括責任者  
逢坂 伸一

運営管理者  
秦野市生涯学習文化振興課  
佐藤 正男

指導主任  
秦野市教育委員会教育指導課  
丸野 研二

指導担当  
秦野市立堀川小学校  
小清水 雄太  
①(兼務)補助

1 班 7 人  
2 班 6 人

指導担当  
秦野市立大根小学校  
保坂 美帆  
②(兼務)補助

3 班 7 人  
4 班 7 人

指導担当  
秦野市立南中学校  
石塚 光  
③(兼務)補助

5 班 6 人  
6 班 6 人

指導担当  
秦野市立浜沢小学校  
伊藤 沙和子  
④(兼務)補助

7 班 6 人  
8 班 6 人

指導担当  
秦野市立本町中学校  
宇都宮 祐  
⑤(兼務)補助

9 班 6 人  
10 班 8 人

指導スタッフ

本部スタッフ

安全担当  
齋藤 (東海大学 教授)  
橋本 (東海大学 学生)  
柳 (東海大学 学生)

運営担当

鮎沢 (二宮町)	設営物資・指導補助①
大堂 (清川村)	設営物資・指導補助②
井上 (松田町)	食事指導・指導補助③
柏木 (大井町)	食事指導・指導補助④
綾部 (中井町)	食事指導・指導補助⑤
諸星 (秦野市企画課)	渉外・記録
林 (秦野市生涯学習文化振興課)	渉外
大津 (秦野市生涯学習文化振興課)	渉外
看護担当	
金井 (秦野市)	保健師
井手尾 (清川村)	保健師



旅行企画・実施：東海教育産業株式会社旅行部イーエスツアー

研修企画：広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会

主催 秦野市・秦野市教育委員会

共催 中井町・中井町教育委員会・大井町・大井町教育委員会

松田町・松田町教育委員会・二宮町・二宮町教育委員会

清川村・清川村教育委員会